

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 獣医師確保対策事業【継続】

【令和6年度予算額 27,705千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

本県獣医師の確保を図るため、大学訪問による受験勧誘や修学資金の貸与を行うほか、獣医師の採用後のスキルアップのための立案型研修等を実施する。

<政策目標>

本県における獣医師の確保・育成

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現, 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

日本有数の畜産県である本県にとって、必要不可欠な専門技術者である県獣医師の確保を図る。

2 事業主体（※負担割合）

県（10/10 ※一部国庫1/2）

※一部団体（公社）畜産協会（獣医師養成確保修学資金（大学生向け支援））

（公社）中央畜産会（獣医師養成確保修学資金（高校生向け支援））

3 事業内容

- ・ 県獣医師への勧誘対策（獣医系17大学の訪問）

【予算額：2,310千円】

- ・ 職員立案型研修の実施

【予算額：1,600千円】

自ら立案した国外・国内の研修に対し、一定額を上限として助成（国外1人：100万円以内、国内2人：30万円以内）

- ・ 獣医師確保対策修学資金の貸与【予算額：30,600千円】

① 獣医師確保対策修学資金貸与（県単）

（国公立：月額10万円 私立：月額12万円）

② 獣医師養成確保修学資金貸与（国庫活用）

（国公立：月額10万円 私立：月額18万円）

③ 獣医師養成確保修学資金（高校生向け）貸与（国庫活用）

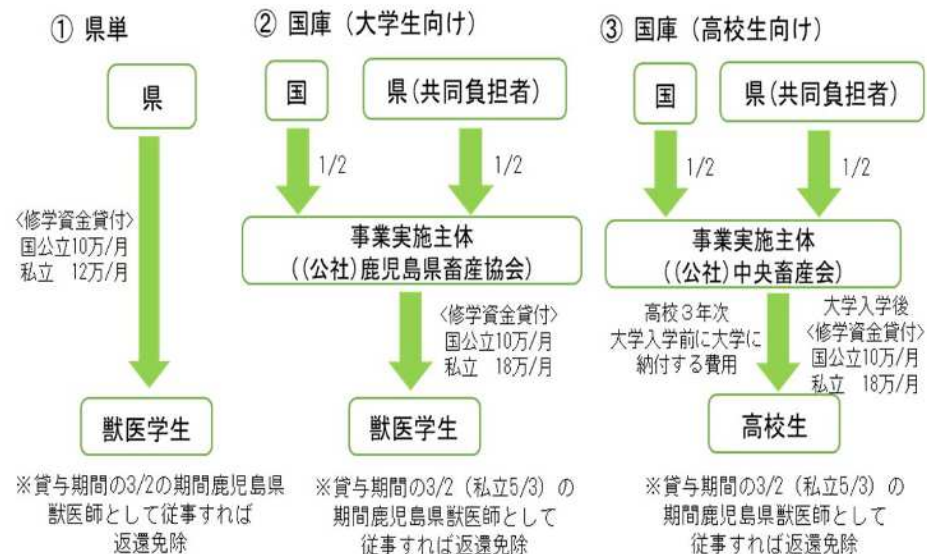
（大学入学前に大学に納付する費用）

4 事業期間

平成21～

<事業イメージ>

獣医師確保修学資金



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政畜産振興課管理係（099-286-3216）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-2, 4）
■「魅力発信」畜産物販路拡大対策事業【継続】

【令和6年度予算額 1,762千円】
 財源（一財）

＜対策のポイント＞

県内において、本県の畜産・畜産物への理解醸成や、消費拡大を図るためPR活動を実施する。
 また、「かごしま黒豚」や「かごしま地鶏」等の販路拡大を図るため、大都市圏で開催される展示会・商談会に出展する。

＜政策目標＞

県産畜産物の販路拡大と県内における畜産業への理解醸成
 ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上
 ※ マニフェスト項目 7 各種メディアの活用とトップセールスで、鹿児島島の「食」をPRし、販路拡大に努めます。

＜事業の内容＞

1 目的

「かごしま黒豚」，「かごしま地鶏」等，
 本県畜産物の認知度向上及び販売量の拡大を目指す。

2 事業主体（※負担割合）

「かごしま畜産の日」実行委員会，県
 鹿児島県黒豚生産者協議会，鹿児島県地鶏振興協議会，

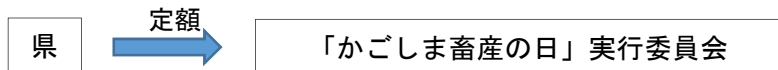
3 事業内容

- (1) 安全・安心な県産畜産物の情報を提供するフェア開催等
- (2) 「かごしま畜産の日」の推進
- (3) 大都市圏で開催される展示会・商談会に出展
- (4) 販売促進資材の作成
- (5) 広報活動の実施 等

4 事業期間

令和4～6年度（3か年）

＜主な事業の流れ・補助率等＞



等

＜事業イメージ＞



県内 畜産フェア開催



県内 出前授業



東京 展示商談会出展
 （かごしま黒豚）



福岡 展示商談会出展
 （かごしま地鶏）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課企画経営係（099-286-3218）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-2, 4）

■和牛日本一鹿児島PR事業【新規】

【令和6年度予算額 66,249千円】
財源（一財）

＜対策のポイント＞県産和牛の国内外における販路拡大を図るため、本県を訪れる観光客や首都圏の消費者、仲卸等の実需者へのPRを強化するほか、アジアへの継続した取組に加え、EU・米国に対する取組を強化します。

＜政策目標＞県産牛肉の国内外における販路拡大

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 7 各種メディアの活用とトップセールスで、鹿児島の「食」をPRし、販路拡大に努めます。

＜事業の内容＞

1 目的

和牛日本一の「県産和牛」の国内外における販路拡大を図る。

2 事業主体

県、鹿児島黒牛黒豚銘柄販売促進協議会、鹿児島県食肉輸出促進協議会

3 事業内容

(1) 国内向け対策

- ・ 首都圏で牛肉を扱う事業者や消費者をターゲットに、和牛日本一のPRを集中的に実施
- ・ 本県を訪れる観光客や県民などをターゲットに、県産和牛の共通のアイテムを活用したPRの実施
- ・ 首都圏のホテルレストランのシェフ等の産地視察やレストランフェアの実施 等

(2) 海外向け対策

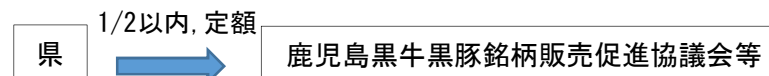
輸出拡大が見込まれるEUや米国における食品展示会・商談会への出展 等

4 事業期間

令和6年度～令和7年度

＜事業イメージ＞

＜主な事業の流れ・補助率等＞



首都圏におけるPR広告(イメージ)



仲卸等による産地視察



食品展示会・商談会への出展



Registration No.58

商標・地理的表示（GI）
登録による差別化

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課畜産流通対策係（099-286-3219）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-2）

■ 畜産JGAP普及推進事業【組替新規】

【令和6年度予算額 2,080千円】
財源（国庫）

<対策のポイント>

「JGAP家畜・畜産物」に係る制度の普及・啓発を図り、農場における認証の取得を推進するとともに、JGAP指導員等の育成・確保を図ります。

<政策目標>

畜産農家等が「JGAP家畜・畜産物」の認証取得等を通じて畜産物の安全を確保し、より良い生産工程管理を実現

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現, 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

今後、本県畜産物の国内外での販路拡大等に繋げるため、畜産物の安全を確保し、より良い生産工程管理を実現する「JGAP家畜・畜産物」の認証取得を推進する。

2 事業主体（※負担割合）

県（国・県，定額（一部上限額あり））

3 事業内容

(1) 認証取得の支援

生産者の認証取得に係る経費を助成
（上限額は右図のとおり）

(2) JGAP指導員の育成・確保

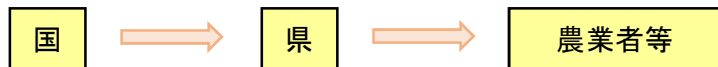
指導員の研修参加に必要な経費を助成

4 事業期間

令和6年度～令和8年度（3か年）

<事業の流れ>

(2)



<事業イメージ>

JGAPの実施の例 → 農場内を点検し、課題や問題点を見つけ、改善。

< 食品安全・家畜衛生 > 農場・畜舎への出入りを制限する 農場内専用の長靴・服などを着用する	< 環境保全 > 家畜排泄物を場内に野積みさせない 家畜排泄物を堆肥かし、農地へ還元	< 労働安全 > 労働災害を未然に予防する注意表示 落下防止柵を設置する
< アニマルウェルフェア > 夏場の暑熱対策や冬の寒冷対策を実施する OIEの勧告に準拠した飼養管理指針に則した飼育をする	< 人権保護 > <ul style="list-style-type: none"> 適切な労務契約・管理 労働者との意見交換、 研修生等の受入条件の遵守 	< 農場経営管理 > <ul style="list-style-type: none"> 部門別責任者の配置 教育訓練の実施、内部点検の実施

JGAP認証農場マーク
登録番号 123456789

● 認証取得助成上限額（個別認証の場合）

認証の種別	助成額の上限 （消費税は対象外）
JGAP家畜・畜産物（農場HACCPとの差分審査）	60千円/戸
JGAP家畜・畜産物（上記以外）	150千円/戸

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課畜産流通対策係（099-286-3219）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-2, 4）

■畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業【継続】

【令和5年度3月補正額 443,372千円】

財源（国庫：443,372千円）

<対策のポイント>

畜産農家・食肉処理施設・輸出事業者等が連携し、生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る体制（コンソーシアム）の取組をさらに加速させるため、コンソーシアムが実施する商談、プロモーション、輸出先国の求めに応えるための取組等への対応を支援します。

<政策目標>

令和7年度における牛肉の輸出量：3,000 t（県農林水産物輸出促進ビジョンにおける目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

1 目的

TPP11や日EU・EPAに続き、日米貿易協定の発効など、国際的な経済連携が進展する中、「攻め」の対策として「鹿児島和牛」、「かごしま黒豚」等の更なる輸出拡大を図る。

2 事業主体

県内各コンソーシアム
（定額（国庫）うち(2)の設備改良・導入，(4)は1/2補助）

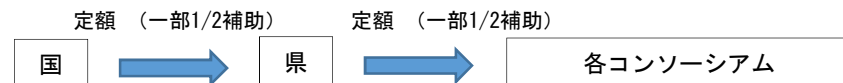
3 事業内容

- (1) コンソーシアムの設立・運営支援
- (2) 輸出先国の基準に対応するためのコンソーシアムの取組等支援
- (3) 新たなコンソーシアムの育成支援
- (4) 畜産物の流通・品質保持等に係る試験実証等支援

4 事業期間

令和6年度（1か年）

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

1. コンソーシアムの設立・運営



2. 輸出先国の基準に対応するためのコンソーシアムの取組

アニマルウェルフェア対応 血斑発生の低減 血斑発生低減等に向けた食肉処理施設の設備改良・導入



3. 新たなコンソーシアムの育成



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課畜産流通対策係（099-286-3219）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 肉用牛振興システム整備強化事業【継続】

【令和6年度予算額 2,074千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

肉用牛関係者が意思統一を図りつつ、強力かつ総合的な指導を行うため、「鹿児島県肉用牛振興協議会」を通じた推進指導体制の整備・強化に取り組みます。

<事業の内容>

1 目的

肉用牛関係機関・団体の緊密な連携のもとに、肉用牛振興の基本方針等について協議し、生産から流通販売に至るまでの諸課題の早期解決を図り、農家所得の向上に資する。

2 事業主体

鹿児島県肉用牛振興協議会（事務局：県畜産振興課）

3 負担割合

県（1/3以内）

4 事業内容

- 本部活動
専門部会（「生産改良」、「情報経営」、「流通販売」）
牛飼い塾、技術員研修会の開催など
- 支部活動（11支部）
技術員・農家研修会の開催、農家の技術指導など

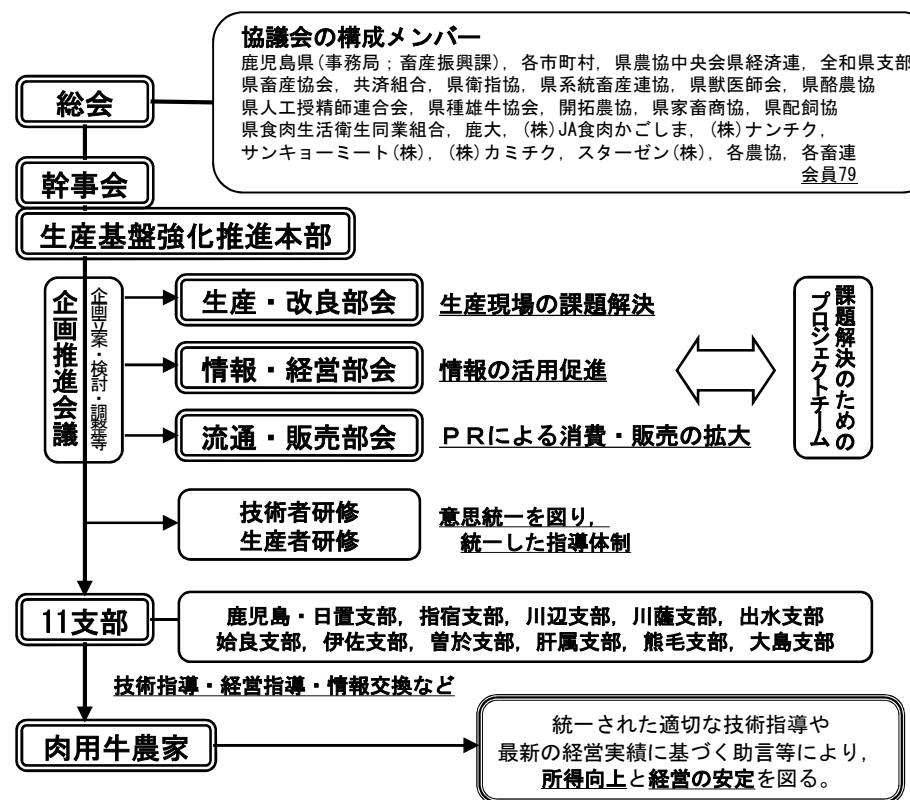
5 事業期間

平成7年度～



<事業イメージ>

鹿児島県肉用牛振興協議会の概要



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係（099-286-3223）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 全国和牛能力共進会出品対策事業【継続】

【令和6年度予算額 16,995千円】

財源（特定：13,500千円，一財：3,495千円）

<対策のポイント>

第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けて、関係機関・団体が一体となり、出品対策に取り組みます。

<政策目標>

第13回全共北海道大会における「和牛日本一」の獲得と「鹿児島黒牛」の更なる改良とブランド力向上

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

令和9年に北海道で開催される全国和牛能力共進会で優秀な成績を収め、「鹿児島黒牛」の銘柄確立とより一層の販路拡大を図るため、関係機関・団体が一体となり、出品対策を実施する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 第13回全国和牛能力共進会鹿児島県推進協議会（県1/3）
- (2) 市町村（県10/10）

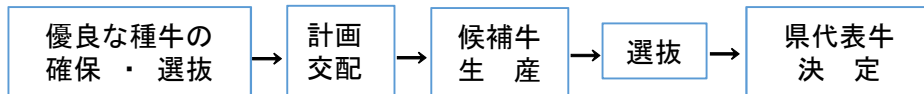
3 事業内容

- (1) 「チーム鹿児島」強化対策事業 【予算額：2,495千円】
 - ・ 優良雌牛からの採卵実施
 - ・ 優良雌牛の選定及び計画交配
 - ・ 全共対策技術実証
- (2) 第13回全国和牛能力共進会出品対策事業 【予算額：14,500千円】
 - ・ 優良繁殖雌牛の導入及び短期肥育技術実証への支援

4 事業期間

令和5年度～令和9年度（5か年）

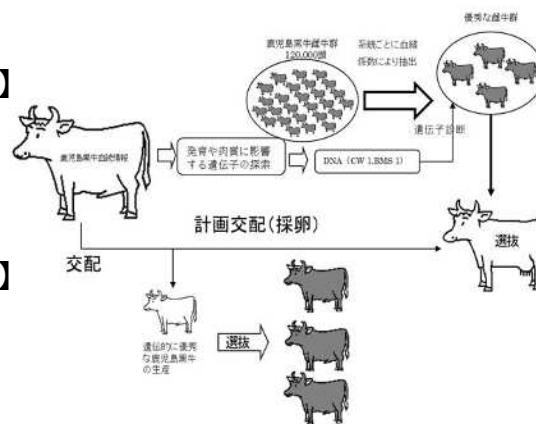
<県代表牛決定までの流れ>



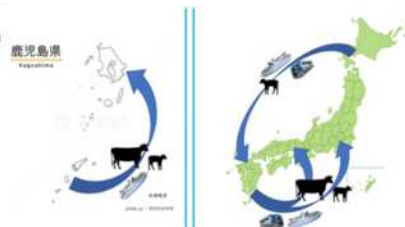
<事業イメージ>



導入した優良繁殖雌牛を畜産共進会に出品
改良状況の確認と地域内の改良基礎牛として保留
KPI：県内保留率85%以上



MUFA向上に向けて飼養管理技術の改善に取り組んだ肥育牛を調査、有効な技術の共有
KPI：オレイン酸の含有率:55%以上



全共対策技術実証（毛色改善実証、栄養度改善技術実証、長距離輸送調査など）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係（099-286-3223）

6 生産振興，販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 肉用子牛価格安定対策事業【継続】

【令和6年度予算額 45,542千円】

財源（特財：19,255千円，一財26,287千円）

<対策のポイント>

肉用子牛生産農家の経営安定を図るため，肉用子牛生産者補給金制度の生産者積立金の一部を支援します。

<事業の内容>

1 目的

肉用子牛（月齢12か月未満）の生産者に対し，生産者補給金を交付すること等により，肉用子牛の生産及び価格の安定を図り，肉用子牛生産経営の健全な発展に資する。

2 事業主体

（公社）鹿児島県畜産協会

3 事業内容

- 肉用子牛の平均売買価格が合理化目標価格を下回った場合に交付される生産者補給金の交付財源となる生産者積立金の一部を助成する。
- 肉用子牛生産者補給金制度の円滑な推進を図るため（独）農畜産業振興機構からの委託により，指定協会に対し助言，指導，調整等を行う。

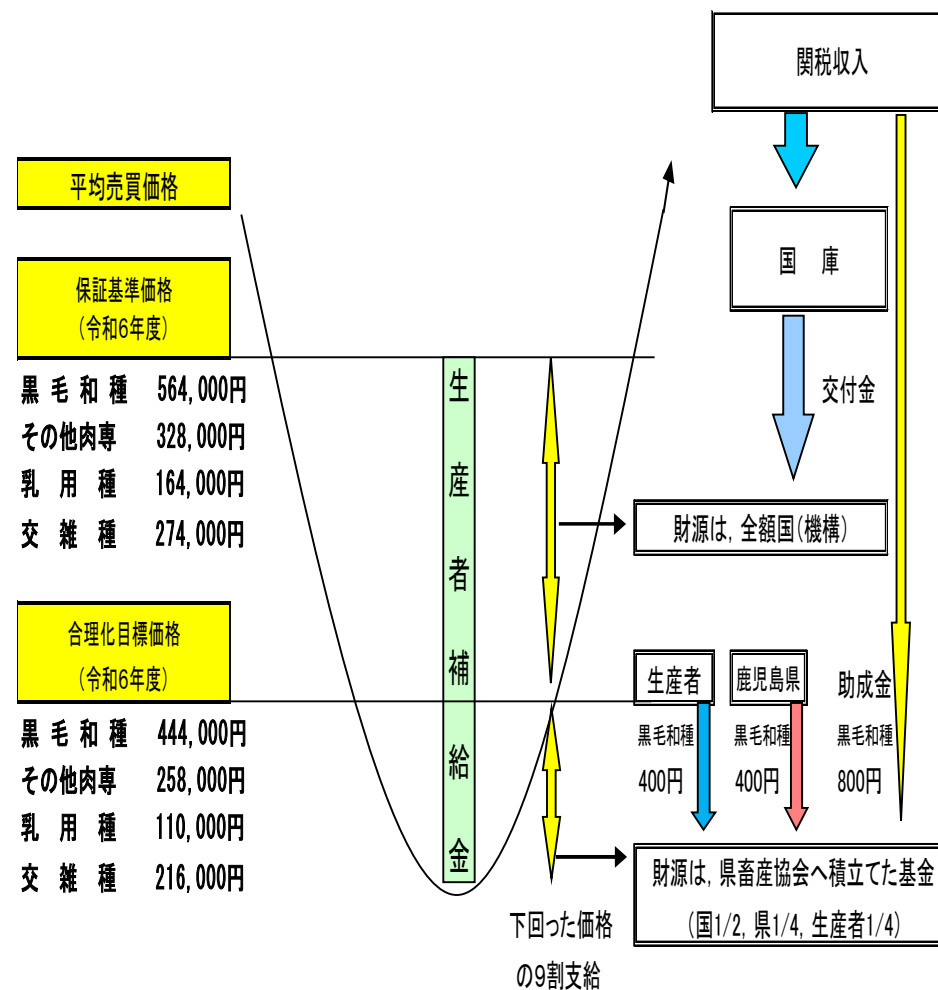
4 事業期間

令和2年度～令和6年度

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係（099-286-3223）

<事業イメージ>



6 生産振興, 販売・流通等に関する施策 (6-3)

■ 肥育牛価格安定対策事業【継続】

【令和6年度予算額 63,135千円】

財源 (特財: 28,000千円, 一財35,135千円)

<対策のポイント>

肥育農家の経営安定を図るため、肉用牛肥育経営安定交付金制度の生産者積立金の一部を支援します。

<事業の内容>

1 目的

肥育経営が悪化した場合に肥育経営を維持するのに必要な経費を軽減するための助成を行い、肥育経営の安定に資する。

2 事業主体

(公社) 鹿児島県畜産協会

3 事業内容

肥育経営の安定を図るため、肉用牛肥育経営が悪化した場合に、肥育経営を継続するのに必要な経費を軽減するための補填金の交付財源となる基金の生産者積立金の一部を助成する。

※ 肥育牛1頭あたりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肥育牛生産者に補填金が交付される。

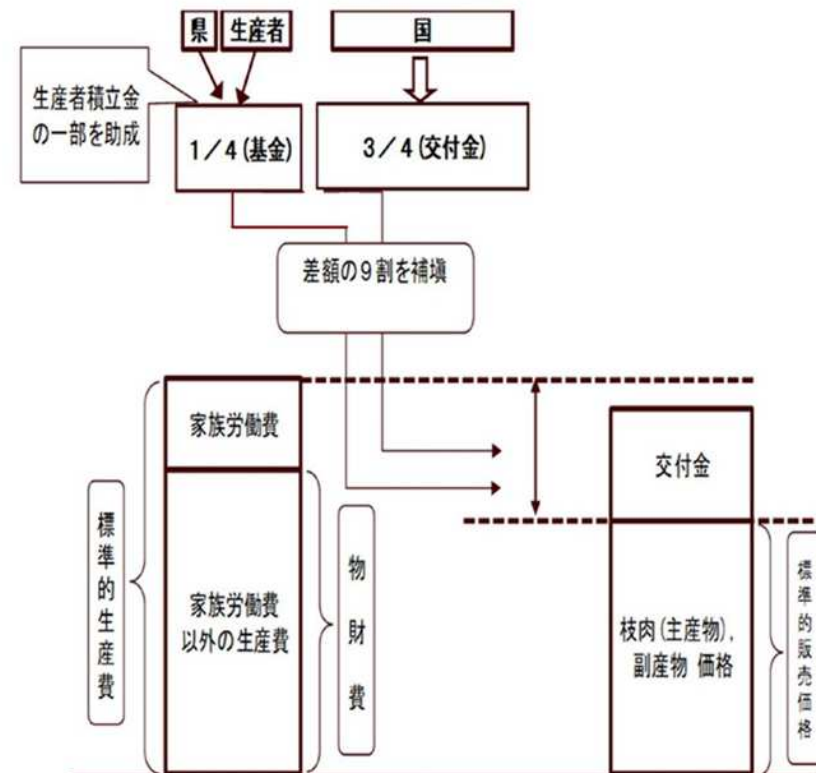
4 事業期間

令和4～6年度

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係 (099-286-3223)

<事業イメージ>



6 生産振興, 販売・流通等に関する施策 (6-3)

■ 「鹿児島黒牛」改良増殖推進事業【継続】

【令和6年度予算額 98,445千円】

財源 (特定: 83,711千円, 一財: 14,734千円)

<対策のポイント>

「肉量・肉質」のバランスのとれた優良種雄牛を選抜・育成し、「鹿児島黒牛」の銘柄確立と更なる畜産振興を図ります。

<政策目標>

「鹿児島黒牛」の銘柄確立

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

受精卵移植や遺伝子診断技術を活用した候補種雄牛の生産や産肉能力検定を実施し、産肉性や飼料効率に優れた種雄牛の選抜・造成に取り組む。

2 事業主体 (※負担割合)

県 (県 100%)

3 事業内容

- (1) 優良種雄牛候補確保対策事業 【予算額: 6,977千円】
- (2) 直接検定事業 【予算額: 19,008千円】
- (3) 産肉能力検定事業 【予算額: 71,331千円】
- (4) 種雄牛管理等推進事業 【予算額: 1,129千円】

4 事業期間

平成22年度～

<事業イメージ>

【優良種雄牛候補確保対策事業】

受精卵移植技術・遺伝子診断技術を活用した
優良種雄牛の生産・選抜

【直接検定事業】

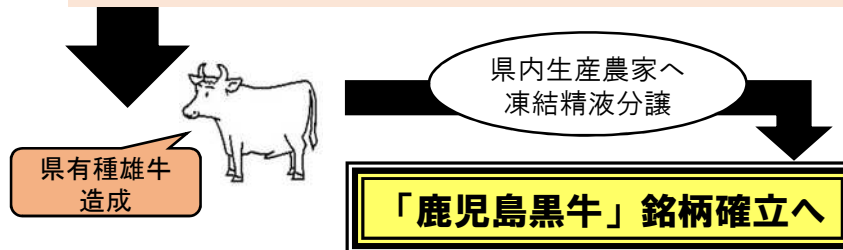
候補種雄牛の直接検定の実施

【産肉能力検定事業】

候補種雄牛の産肉能力検定の実施

【種雄牛管理等推進事業】

候補種雄牛選抜に係る会議の開催, 種雄牛の貸付,
種畜検査の実施



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係 (099-286-3223)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 乳用牛改良増殖対策事業【継続】

（乳用牛群検定普及定着化事業）

【令和6年度予算額 2,623千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

組織的な能力検定の普及定着化，分析データに基づく飼養管理等の指導強化を行います。

<政策目標>

酪農の生産基盤の維持・拡大（県酪農・肉用牛生産近代化計画 目標：経産牛頭数9,500頭（R12年度））

<事業の内容>

1 目的

検定の実施と検定データのフィードバックによる管理指導の強化により，酪農家の経営安定に資する。

2 事業主体（※負担割合）

鹿児島県酪農業協同組合（県 42.2%以内）

3 事業内容

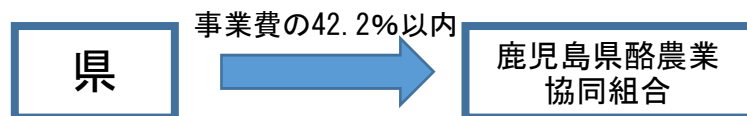
牛群検定組合により，毎月実施される牛群検定に係る検定経費の一部を助成する。

- ・ 検定事業の内容
- （1）乳量測定及び成分分析用サンプル採取
- （2）繁殖・飼養管理に関する調査
- （3）技術指導等

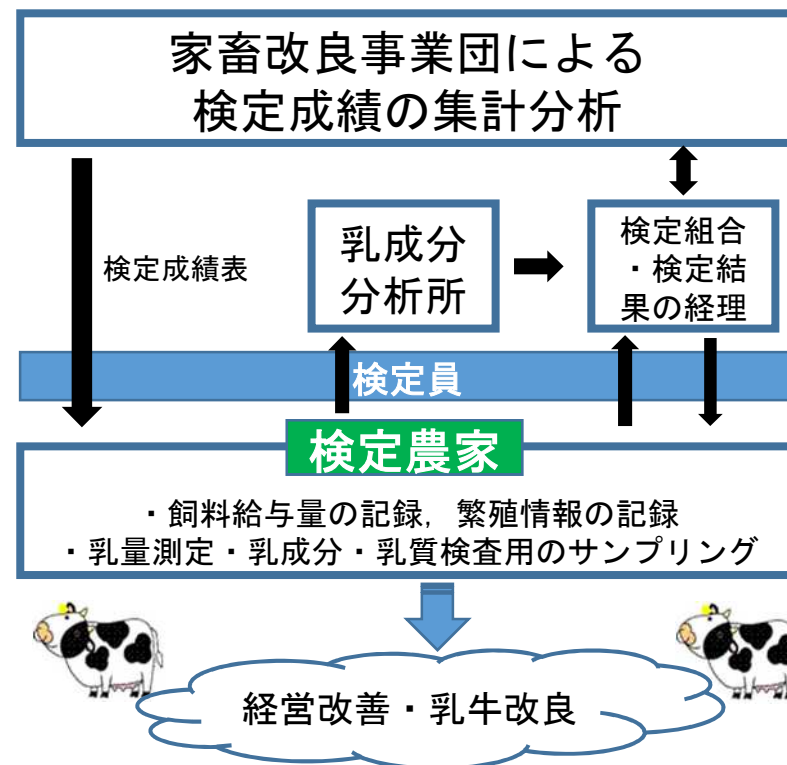
4 事業期間

平成2年度～

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係（099-286-3221）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 生乳流通改善対策事業
（加工原料乳生産者補給金等交付事業） 【継続】

【様式7】

【令和6年度予算額 180千円】
財源（国庫：180千円）

＜対策のポイント＞

- ・ 生乳の再生産の確保及び生産者の経営安定を図るため、加工原料乳生産者補給金を交付する。
- ・ 加工原料乳の大幅な価格変動の影響緩和のための補てん金を交付し、価格形成の合理化と牛乳及び乳製品の価格安定、酪農・乳業の健全な発展を促進する。

＜事業の内容＞

1 目的（必要性、背景）

加工原料乳地域の生乳の再生産を確保し、生産者の経営安定を図るため、加工原料乳生産者補給金を交付するとともに、加工原料乳の大幅な価格変動の影響を緩和するための補てん金を交付することにより、生乳の価格形成の合理化と牛乳及び乳製品の価格安定と酪農・乳業の健全な発展を促進する。

2 事業主体

事業主体：県
負担割合：（独）農畜産業振興機構（10／10）

3 事業内容

加工原料乳生産者補給金制度に係る原料乳数量確認事務

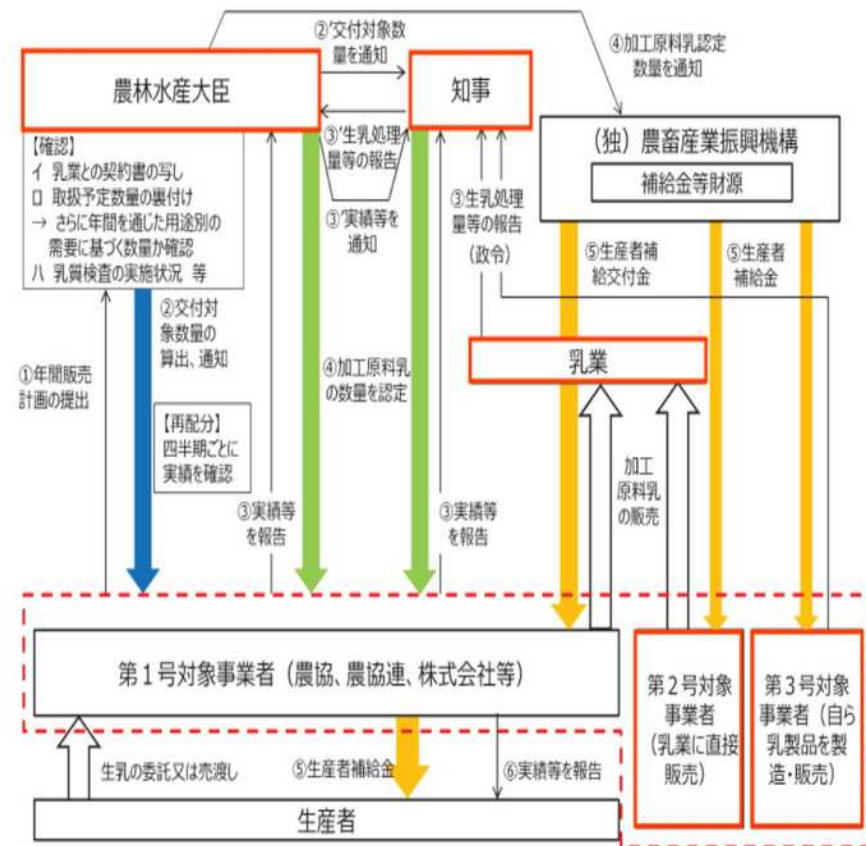
4 事業期間

昭和41年度～

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係（099-286-3223）

＜事業イメージ＞



※④の加工原料乳の数量認定については、その活動範囲が1県内である場合は知事、複数の県にまたがる場合は大臣が行う。
※集送料調整金は、指定事業者に対して、認定された加工原料乳数量に基づき、⑤生産者補給金の交付にあわせて交付。

6 生産振興, 販売・流通等に関する施策 (6-3)
 ■ 乳用牛生産基盤維持支援事業【新規】

【令和6年度予算額 3,300千円】
 財源 (一財)

<対策のポイント>

酪農生産基盤の維持・強化を図るため, 乳用後継牛の県内確保による搾乳牛頭数の増頭及び乳用子牛の預託育成を推進する取組に対し支援します。

<政策目標>

酪農生産基盤の維持・強化

<事業の内容>

1 目的

乳用後継牛の県内確保による搾乳牛頭数の増頭及び乳用子牛の預託育成を推進する取組により酪農生産基盤の維持・強化を図る。

2 事業主体 (※負担割合)

鹿児島県酪農業協同組合 (県1/2以内)

3 事業内容

鹿児島県酪農業協同組合が, 乳用後継牛の県内導入又は自家保留により搾乳牛の増頭を推進する取組及び乳用子牛の預託育成を推進する取組に係る経費の一部を助成する。

4 事業期間

令和6~8年度 (3か年)

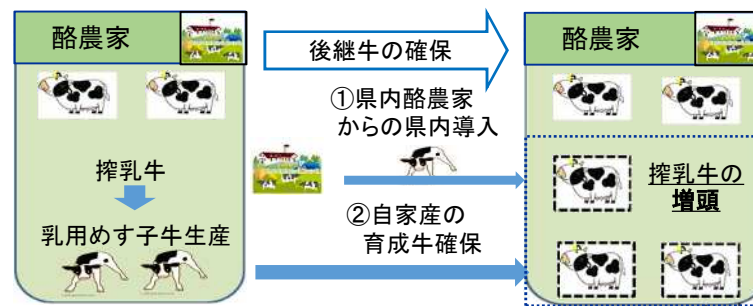
<事業の流れ>



<事業イメージ>

1 乳用後継牛の県内確保の推進

○ 乳用後継牛の県内導入・自家保留による搾乳牛の増頭支援



2 乳用子牛の預託育成の推進

○ 酪農家が預託する乳用子牛の輸送支援



搾乳牛頭数の増加

酪農生産基盤の維持・強化

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係 (099-286-3221)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 持続可能な酪農振興対策事業【継続】

【令和6年度予算額 2,885千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

新規就農者の確保により生産基盤を維持するとともに、ヘルパー組織の強化による労働負担軽減及び生産性の向上を通じた収益の確保を支援します。

<政策目標>

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

担い手の確保や労働負担軽減、生乳生産量確保により、本県酪農の生産基盤を維持・強化し、持続可能な酪農の振興を図る。

2 事業主体（負担割合等）

鹿児島県酪農業協同組合（補助率：県1／2以内）
県（負担割合10／10）

3 事業内容

(1) 酪農経営及び酪農支援組織への参入者の確保
担い手の確保
酪農家の労働負担軽減

【予算額：1,335千円】

(2) 生産性の向上による収益確保
生乳生産量の確保

【予算額：1,550千円】

4 事業期間

令和5～7年度（3か年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

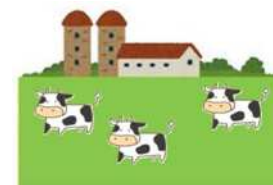
1 担い手の確保

- ・新規就農者支援組織が実施する活動との連携強化
- ・酪農振興施策の推進（県事務費）



2 酪農家の労働負担軽減

- ・新人ヘルパースキルアップ研修
- ・ヘルパー組合利用促進



3 生乳生産量の確保

- ・衛生害虫駆除技術の普及による牛のストレス低減
- ・受精卵受胎率向上に有効な繁殖機資材の普及



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課肉用牛酪農係（099-286-3221）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 豚改良増殖対策事業【継続】

【令和6年度予算額 9,169千円】

財源（一財：8,793千円，財産収入：376千円）

<対策のポイント>

本県の養豚振興及び家畜改良増殖計画の達成に向けて計画的に取り組む。

<政策目標>

県内の養豚関係機関・団体等との意見調整を図り、本県の豚の改良増殖及び養豚振興を促進する。

民間の種豚生産者による育種改良組織（指定種豚場）において、優良種豚の検定を実施し、種豚の改良増殖を推進する。

県産黒豚の遺伝資源を確保するための体制を整備し、在来種豚の維持・増殖を推進する。

<事業の内容>

1 目的

国・県において、豚の生産性や肉質の向上に向けた「家畜改良増殖目標」を策定し、国際化の進展等に対応した豚肉生産を推進する。

2 事業主体

- (1)～(3) 県（10/10）(2), (3)は一部委託
- (4) 県（10/10）（一部委託），農業者が組織する団体等

3 事業内容

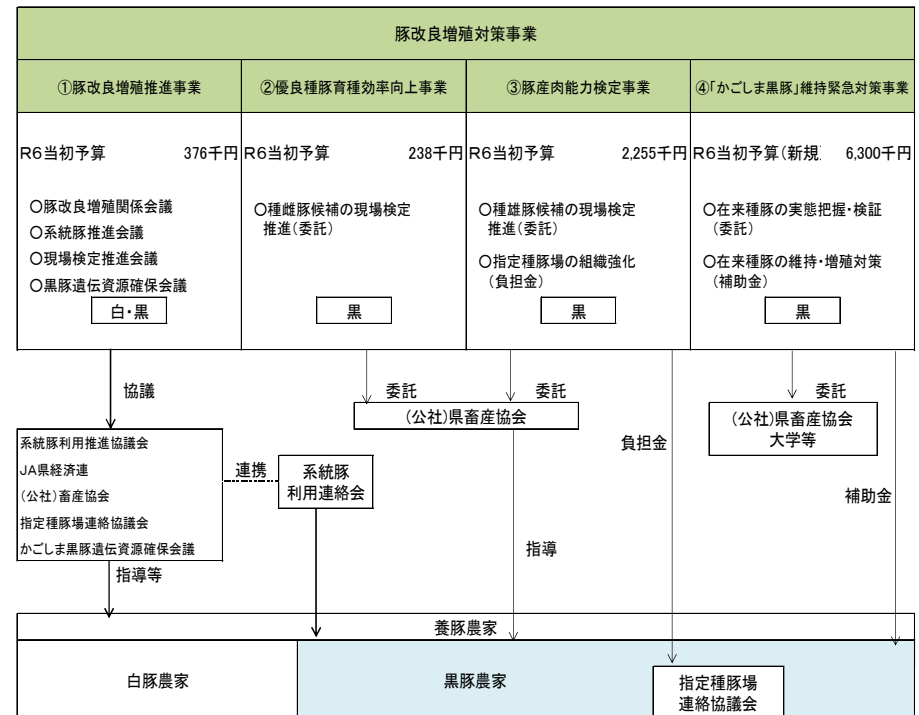
- (1) 豚改良増殖推進事業 【予算額： 376千円】
県内の養豚関係機関・団体等との意見調整を図り、本県の豚の改良増殖及び養豚振興を促進
- (2) 優良種豚育種効率向上推進事業 【予算額： 238千円】
指定種豚場における優良種雌豚の現場検定（※委託事業）
- (3) 豚産肉能力検定事業 【予算額：2,255千円】
指定種豚場における種雄豚候補の現場検定（※委託事業）
- (4) 「かごしま黒豚」維持緊急対策事業【予算額：6,300千円】
・在来種豚の実態把握・検証（※委託事業）
・在来種豚の維持・増殖対策

4 事業期間

昭和49年度～

<事業の流れ> 右図〈事業イメージ〉のとおり

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係（099-286-3226）

6 生産振興, 販売・流通等に関する施策 (6-3)

■ 系統豚適正管理事業【継続】

【令和6年度予算額 3,466千円】
財源 (一財)

<対策のポイント>

系統豚「ニューサツマ」・「サツマ2001」・「クロサツマ2015」の能力調査や適正な血統管理を行うとともに、この3つの系統豚の有効かつ長期的な活用を図るため、農家等に譲渡した種豚の繁殖能力調査及び肉豚の産肉成績を調査する。

<政策目標>

系統豚の適正な維持増殖による、かごしま黒豚の生産振興

<事業の内容>

1 目的

県で造成した系統豚の供給体制を整備するために、維持群の血統管理と能力調査を行うとともに、農家等に譲渡した種豚の繁殖能力等及び肉豚用子豚の成績を調査し、優良系統豚の増殖に資する。

2 事業主体 (※負担割合)

県 10/10 委託先: (一社) 県種豚改良協会

3 事業内容

(1) 系統豚の血統管理

- ① 適正飼養管理
- ② 血統管理
- ③ 能力調査

(2) 譲渡した系統豚の能力調査 (現地調査)

- ① 繁殖能力調査
- ② 産肉能力調査

4 事業期間

平成8年度～

<事業の流れ>

県 → (一社) 県種豚改良協会

<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係 (099-286-3226)

6 生産振興, 販売・流通等に関する施策 (6-3)

■ 肉豚価格安定対策事業【継続】

【令和6年度予算額 84,444千円】
財源 (一財)

<対策のポイント>

養豚経営の安定を図るため、畜産経営の安定に関する法律に基づく肉豚経営安定交付金制度の生産者負担金の一部助成を行う。

<政策目標>

肉豚価格安定交付金の適正な運用による養豚経営の安定

<事業の内容>

1 目的

肉豚経営安定交付金制度における生産者負担金の一部助成を行い、肉豚生産者の経営に及ぼす影響を緩和し、養豚経営の安定を図る。

2 事業主体 (負担割合)

公益社団法人鹿児島県畜産協会等
(県 定額60円/頭)

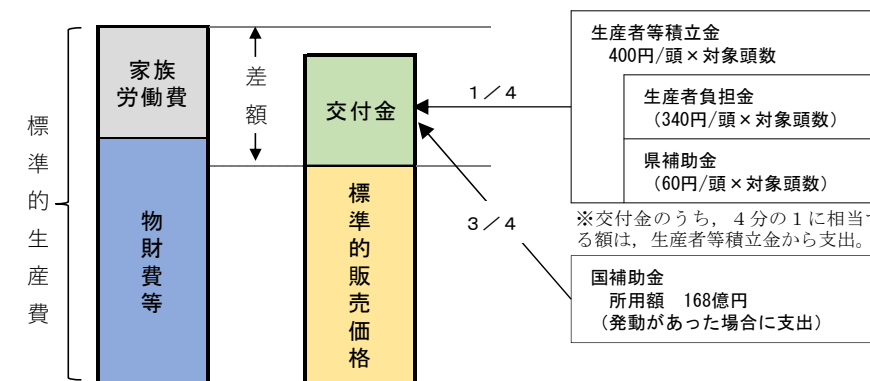
3 事業内容

養豚経営の安定を図るため、肉豚経営安定交付金制度の交付財源となる基金の生産者負担金の一部を助成する。

4 事業期間

平成7年度～

<事業イメージ>



○ 四半期毎に肉豚1頭あたりの標準的販売価格と標準的生産費を算定*し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割が肉豚生産者に交付される。

※ 標準的販売価格と標準的生産費は四半期終了時に計算。当該四半期に発動がなかった場合は、次の四半期と通算して計算。

<事業の流れ> 県 → 畜産協会等

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係 (099-286-3226)

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 「かごしま黒豚」維持緊急対策事業【新規】

【令和6年度予算額 6,300千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

県産黒豚の遺伝資源の確保のための体制を整備し、在来種豚の維持・増殖等に取り組む。

<政策目標>

かごしま黒豚の生産基盤の強化・ブランド力の向上

<事業の内容>

1 目的

優良種豚を供給する指定種豚場の戸数減少により、在来種豚が減少しているため、県産黒豚の遺伝資源の確保のための体制を整備し、在来種豚の維持・増殖を推進し、将来に向けた「かごしま黒豚」の生産基盤の強化を図る。

2 事業主体

- (1), (2) 県 10/10（一部委託）
- (3) 農業者が組織する団体等

3 事業内容

- (1) 遺伝資源の確保に係る体制整備等【予算額：412千円】
県産黒豚の遺伝資源の確保の方策等の検討
- (2) 在来種豚の実態把握・検証【予算額：3,263千円】
 - ・血統能力調査（種豚リスト化，外貌調査）
 - ・遺伝情報調査（遺伝子解析等）
- (3) 在来種豚の維持・増殖対策【予算額：2,625千円】
 - ・指定種豚場等が行う在来種豚を導入等への支援

4 事業期間

- (1)及び(3)：令和6年度～令和8年度（3か年）
- (2)：令和6年度（1か年）

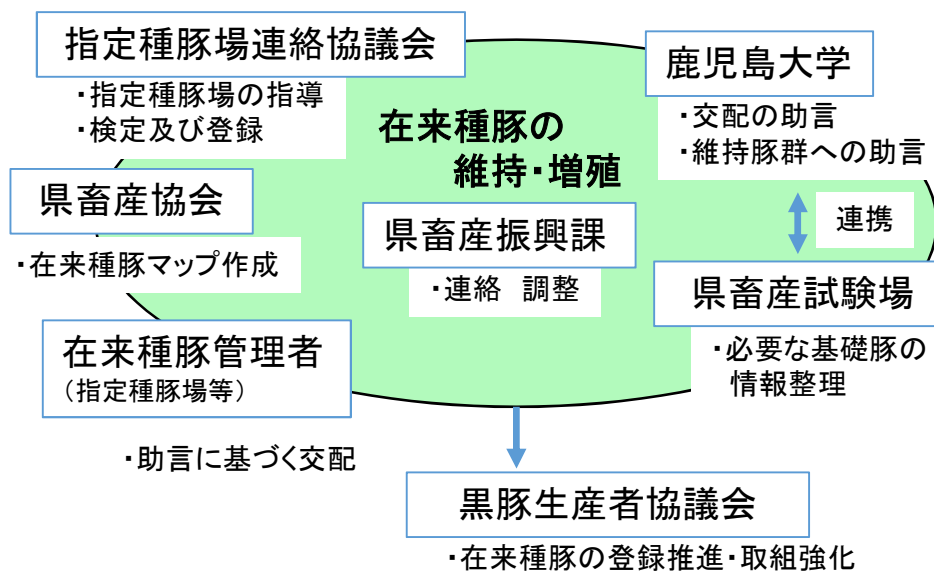
<事業の流れ>

- (1), (2) 県（一部委託）
- (3) 県 → 農業者が組織する団体 → 指定種豚場等

<事業イメージ>

「かごしま黒豚」遺伝資源確保会議（仮称）

在来種豚群・規模の検討及び方針の決定



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係（099-286-3226）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 鶏改良増殖対策事業【継続】

【令和6年度予算額 874千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

本県養鶏産業の振興方針や課題解決に向けた検討，飼養衛生管理技術の向上，地鶏改良のための能力調査を実施する。

<政策目標>

本県の養鶏産業（肉用鶏，採卵鶏）振興や本県産地鶏のブランド力向上

<事業の内容>

1 目的

本県の養鶏産業（肉用鶏，採卵鶏）振興のため，県全体の振興方針や課題解決に向けた検討を行うほか，飼養衛生管理技術向上のための普及啓発を行い，競争力の高い養鶏産地を育成する。

あわせて，本県が作出した肉用地鶏（さつま若しゃも，さつま地鶏，黒さつま鶏）のブランド力向上のための普及活動を行う。

2 事業主体（※負担割合）

(1) 鹿児島県（10/10）

3 事業内容【予算額：874千円】

- (1) 地域推進活動及び研修会等の開催
 - (2) 生産農場及び処理・加工場の現地調査
 - (3) 全国会議及びPRイベントへの参加
 - (4) 研修会及び普及推進資料の作成・配布
 - (5) 地鶏能力調査に要する経費
- 【予算額：349千円】
- 【予算額：525千円】

4 事業期間

平成7年度～

<事業の流れ>

県 → 県地鶏振興協議会（地鶏能力調査の委託）

<事業イメージ>



【研修会の開催】



【全国会議：鶏改良推進中央会議】



【「かごしま地鶏」の能力調査】
・種鶏・肥育鶏の能力調査・分析
（育成率，産卵率，健すう率等）
・流通・販売成績の収集・分析
（出荷先，流通価格等）

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係（099-286-3226）

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 鶏卵価格安定対策事業【継続】

【令和6年度予算額 24,651千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

鶏卵生産者の経営安定を図るため、国の「鶏卵生産者経営安定対策事業」に対して、生産者積立金の一部を助成する。

<政策目標>

鶏卵の需給動向に対応した計画的な生産の推進による鶏卵生産者の経営安定

<事業の内容>

1 目的

配合飼料価格の高騰や鶏卵価格の下落などにより、鶏卵生産者の経営が悪化した場合に損失の補てんを行い、経営安定を図る。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) 鹿児島県経済農業組合連合会 } (県 定額(0.2円/kg))
(2) (一社) 日本養鶏協会

3 事業内容【予算額：24,651千円】

鶏卵生産者経営安定対策事業に参加している生産者の補てん積立金の一部（0.2円/kg）を助成する。

4 事業期間

令和5～令和7年度（3か年）

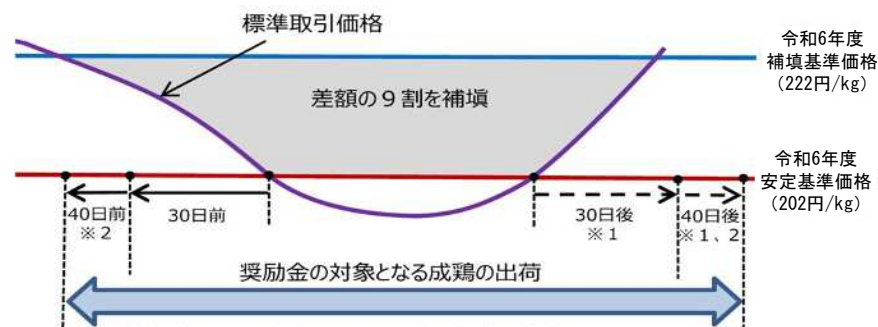
<事業の流れ>

県 → [県経済農業協同組合連合会
(一社) 日本養鶏協会]

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係（099-286-3226）

<事業イメージ>

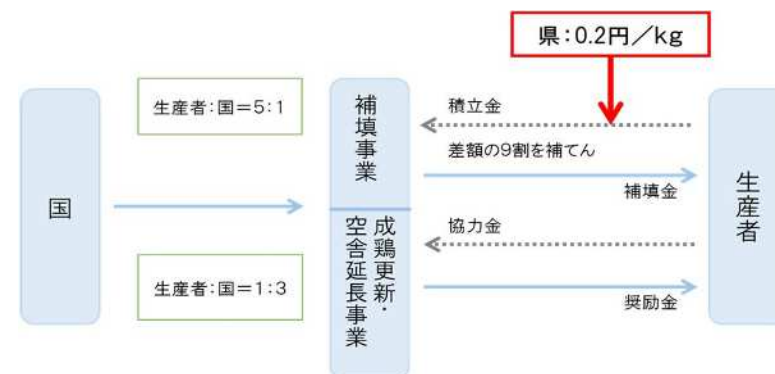


奨励金単価 ()内は10万羽未満飼養生産者>

- ・空舎期間 60日以上 90日未満 210円/羽 (310円/羽)
- ・空舎期間 90日以上120日未満 420円/羽 (620円/羽)
- ・空舎期間 120日以上150日未満 630円/羽 (930円/羽)
- ・食鳥処理場への奨励金 47円/羽

※1 安定基準価格を上回る日の前日までに、食鳥処理場に予約されている場合。

※2 10万羽未満飼養生産者に限る。



6 生産振興, 販売・流通等に関する施策 (6-3)

■ ブロイラー価格安定対策事業【継続】

【令和6年度予算額 93,552千円】
財源 (一財)

<対策のポイント>

ブロイラー生産者の経営安定を図るため, 県畜産協会が行う「ブロイラー価格安定対策事業」に対して, 生産者積立金の一部を助成する。

<政策目標>

ブロイラー生産者の経営安定

<事業の内容>

1 目的

配合飼料価格の高騰や輸入鶏肉の増加等による鶏肉価格の下落などにより, ブロイラー生産者の経営が悪化した場合に損失の補てんを行い, 経営安定を図る。

2 事業主体 (※負担割合)

公益社団法人鹿児島県畜産協会(県 定額(0.64円/羽))

3 事業内容【予算額: 93,552千円】

公益社団法人鹿児島県畜産協会が行うブロイラー価格安定基金への積立金の一部を助成する。

4 事業期間

令和6~令和8年度(3か年)

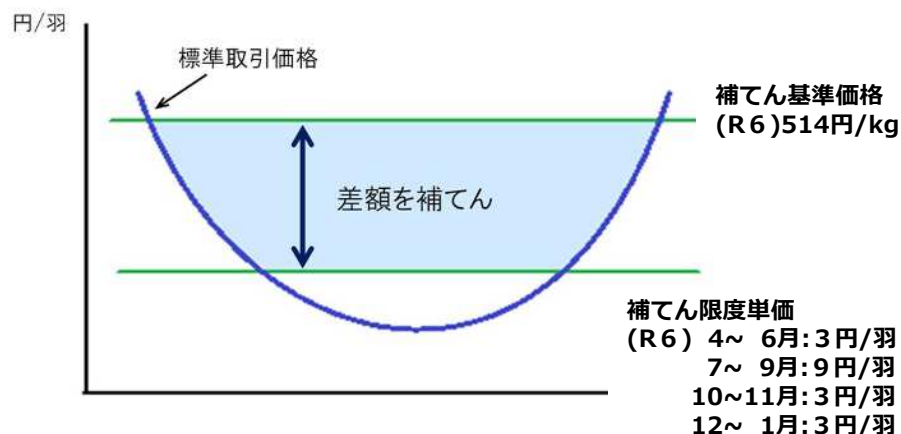
<事業の流れ>

県 → (公社) 県畜産協会

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係 (099-286-3226)

<事業イメージ>



積立金の負担区分 (R6年度)

生産者	1. 17円/羽	(39.3%)
出荷組合	1. 17円/羽	(39.3%)
県	0. 64円/羽	(21.4%)
計	2. 98円/羽	

6 生産振興、販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 新交雑鶏等生産出荷体制整備事業【継続】

【令和6年度予算額 424千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

本県が開発した地鶏の生産・流通体制やブランド確立を図るため、地鶏の生産を一元的に振興する鹿児島県地鶏振興協議会の活動を支援する。

<政策目標>

本県産地鶏の生産・流通体制やブランドの確立

<事業の内容>

1 目的

本県では、県が開発した「さつま若しゃも」「さつま地鶏」「黒さつま鶏」の3種の地鶏が生産され、平成29年5月には3種の地鶏が「かごしま地鶏」として「かごしまブランド」の産地指定を受けた。

今後、さらなる本県産地鶏の生産・流通体制やブランドの確立を図るため、地鶏の生産を一元的に振興する鹿児島県地鶏振興協議会の活動を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

鹿児島県地鶏振興協議会（県 1/2）

3 事業内容【予算額：424千円】

- (1) 地域推進体制の整備に要する経費【予算額：70千円】
- (2) 生産技術向上対策・流通対策に要する経費【予算額：255千円】
- (3) 銘柄確立対策に要する経費【予算額：99千円】

4 事業期間

平成22年度～

<事業の流れ>

県 → 県地鶏振興協議会

<事業イメージ>



【生産技術向上・流通対策セミナー】



【県内イベント（畜産フェア）】



【販促資材：パンフレット】



【販促資材：地鶏食べ歩きマップ】

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課中小家畜係（099-286-3226）

4 担い手確保・育成に関する施策（4-1）

■ 畜産基盤再編総合整備事業（公共）【継続】

【令和6年度予算額 1,316,989千円】

財源（国庫：797,266千円 一財：130,723千円）

<対策のポイント>

自給飼料増産のための草地，飼料畑の開発整備を行い，飼料生産基盤に立脚した畜産主産地の形成を促進します。

<政策目標>

飼料基盤の造成・整備：263.1ha（「鹿児島県酪農・肉用牛生産近代化計画」における令和12年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

飼料基盤の開発整備，農業用施設の整備等を行うとともに，畜産生産の核となる経営体を創出することにより，畜産主産地の形成を促進する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) （公財）鹿児島県地域振興公社（本土：国50%，県22.5%
離島：国55%，県25% 奄美：国2/3，県25%）
- (2) 県（県1/2，国1/2）

3 事業内容

- (1) 整備事業 【予算額：1,311,489千円】
草地，飼料畑等の基本施設整備や，畜舎等の農業用施設整備など，畜産経営に必要な施設整備
- (2) 計画策定事業 【予算額：5,500千円】
事業計画の策定

4 事業期間

平成8年度～

<事業の流れ>

- (1) 整備事業 : 国 → 県 → 地域振興公社
- (2) 計画策定事業 : 国 → 県

<事業イメージ>

草地，飼料畑の開発整備



畜舎等の施設整備



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-2） ■ 配合飼料価格高騰対策緊急支援事業【継続】

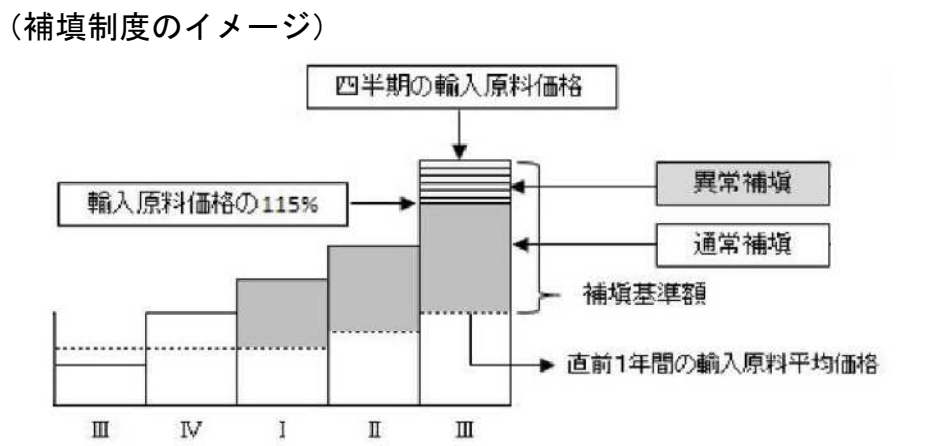
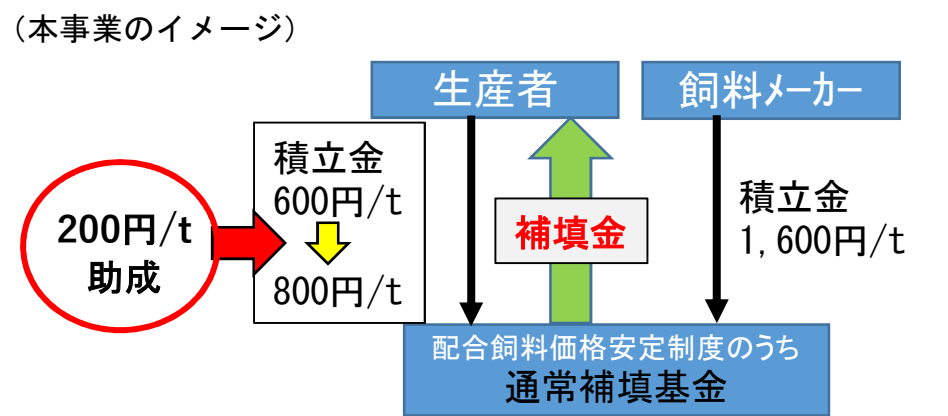
令和6年度当初予算額 538,200千円
 <国庫：538,200千円>

<対策のポイント>
 配合飼料価格安定制度における生産者積立金の助成を行い、畜産経営に及ぼす影響を緩和する。
 ※目指すべき事業効果等 配合飼料価格安定制度への契約率の増加 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

- 1 目的**
 国内の配合飼料価格が高騰し、配合飼料価格安定制度における補填金の交付が続き、基金の財源が不足。
 そのため、R6年度の生産者積立金がトン当たり600円から800円へR4年度と同様、200円の増額となり生産者負担が増えることから、生産者積立金の一部を助成。
- 2 事業主体**
 鹿児島県配合飼料価格安定基金協会、県経済農業協同組合連合会、鹿児島県酪農業協同組合、薩州開拓農業協同組合、マルイ農業協同組合、鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社、有限会社ヤマタケ農産
- 3 事業内容**
 R6年度生産者積立金の増額分（R5:600円→R6:800円の差額200円）を県が助成（参考）
 ※R4年度：R4年度生産者積立金の増額分（R3:400円→R4:600円の差額200円）を県が助成
 ※R5年度：R5年度生産者積立金の増額分の一部（R3:400円→R5:600円の差額200円の1/2の100円）を県が助成
- 4 事業期間**
 令和4～令和6年度（3か年）

<補填制度と本事業イメージ>



[お問い合わせ先]
 鹿児島県農政部畜産振興課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-1） ■ 地域資源フル活用飼料増産対策事業【拡充】

【令和6年度当初予算額 51,087千円】
 財源（一財）

<対策のポイント>

飼料自給率の向上を図るため、飼料作物の生産拡大等の取組を支援します

<政策目標>

飼料自給率の向上 29.8% (R4) → 30.4% (R12) (県酪農及び肉用牛生産近代化計画における目標)

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

自給飼料の生産拡大に取り組む生産者や飼料生産組織等を支援し、飼料自給率の向上を図る。

2 事業主体（※負担割合）

県、協議会、生産者集団、飼料生産組織等（定額、1/2以内）

3 事業内容

(1) 自給飼料の生産・利用拡大対策

- ア 畜産農家の自給飼料増産に向けた啓発
 - ・生産者研修会等の開催や啓発資料の作成
- イ 地域の実情に応じた自給飼料増産の取組
 - ・品種選定や収量向上に向けた栽培実証等
- ウ 飼料作物の生産拡大への取組
 - ・野生動物による飼料作物の食害防止対策
 - ・飼料作物の作付け面積拡大に要する経費助成
 - ・高栄養粗飼料への転換に向けた取組
- エ 国産濃厚飼料増産対策
 - ・飼料用米増産に向けた取組
 - ・子実用トウモロコシ増産に向けた取組

(2) 飼料生産組織の育成・活動強化対策

- ア 受託面積拡大への取組
 - ・受託面積拡大に必要な経費の助成
- イ 広域活動への支援
 - ・広域での活動に必要な機器・設備導入、飼料分析等

(3) 地域資源フル活用飼料増産対策推進事業

- ア 事業の適切かつ円滑な実施に資する取組に必要な経費の助成

4 事業期間

令和5年度～7年度（3カ年）

<事業イメージ>

○畜産農家の自給飼料増産に向けた啓発



○地域の実情に応じた自給飼料増産の取組



○飼料作物の生産拡大への取組



○飼料生産組織の育成・活動強化対策



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）



3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-1）

■ 畜産環境総合整備事業（公共）【継続】

【令和6年度予算額 514,266千円】

財源（国庫：368,580千円 一財：35,686千円）

<対策のポイント>

総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物等の地域資源のリサイクルシステムの構築を促進します。

<政策目標>

たい肥化・液肥化仕向率：97.9%（「鹿児島県家畜排せつ物利用促進計画」における令和12年度目標値）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物等の地域資源のリサイクルシステムを構築することにより、畜産経営に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化に資する。

2 事業主体（※負担割合）

- (1) （公財）鹿児島県地域振興公社（本土：国50%，県22.5%
離島：国55%，県25% 奄美：国60%，県25%）
- (2) 県（県1/2，国1/2）

3 事業内容

- (1) 整備事業 【予算額：509,266千円】
畜産施設用地造成等の基盤整備や、家畜排せつ物処理施設等の畜産経営に必要な施設整備
- (2) 計画策定事業 【予算額：5,000千円】
事業計画の策定

4 事業期間

平成13年度～

<事業の流れ>

- (1) 整備事業 : 国 → 県 → 地域振興公社
- (2) 計画策定事業 : 国 → 県

<事業イメージ>

家畜排せつ物処理施設整備



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

3 安全で安心な農畜産物の安定供給に関する施策（3-1）

■ 資源循環型畜産確立対策推進事業【継続】

【令和6年度予算額 725千円】
財源（一財）

<対策のポイント>

家畜ふん尿の適正処理の促進により，資源循環型畜産の確立を推進します。

<政策目標>

令和12年度における家畜排せつ物の適正処理仕向量率：98.0%
（「鹿児島県における家畜排せつ物の利用の促進を図るための計画（R3.3策定）」）

<事業の内容>

1 目的

農家への実態調査や巡回指導，関係者による協議会の開催，苦情発生農家への技術的指導等により，家畜ふん尿の適正処理を推進する。

2 事業主体（※負担割合）

県（10/10）

3 事業内容

(1) 地域推進指導協議会の開催

- ・市町村や農協等への事業説明
- ・環境汚染防止に係る指導方策の検討

(2) 畜産農家に係る環境保全実態調査・巡回指導の実施

- ・畜産農家へ実態調査や巡回指導

(3) 環境保全特別指導

- ・畜産経営に起因する苦情の発生及び苦情の発生の恐れのある経営について，水質汚濁物質や悪臭物質の測定結果等に基づく技術的な指導

(4) 畜産環境アドバイザーの育成（R6～8）

- ・技術普及指導ができる畜産環境アドバイザーの育成

4 事業期間

平成12年度～

<事業イメージ>



現地における技術指導の様子



堆肥化処理の推進

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

6 生産振興，販売・流通等に関する施策（6-3）

■ 畜産クラスター事業【継続】

【令和5年度3月補正額 232,249千円】
 【令和6年度予算額 3,845,207千円】
 財源（国庫）

<対策のポイント>

地域の畜産クラスター協議会が実施する中心的な経営体の収益性向上等を図るための畜舎や堆肥舎等の整備を支援します。

<政策目標>

畜舎等の整備による飼養規模の拡大や飼養管理の改善等による販売額の10%以上の増加 等（国の政策目標）

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

1 目的

畜産・酪農の収益力・生産基盤を強化するため、畜産農家をはじめ、地域の関係者が連携する畜産クラスターの仕組みの活用等により、生産コストの削減，規模拡大等，地域一体となって行う取組を支援する。

2 事業主体（※負担割合）

畜産クラスター協議会（事業執行は取組主体）
 （国1/2以内）

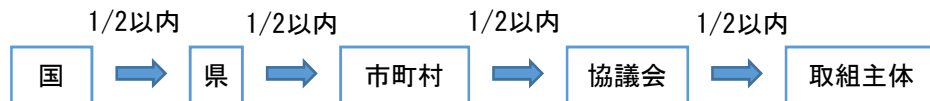
3 事業内容

畜舎や堆肥舎等の整備

4 事業期間

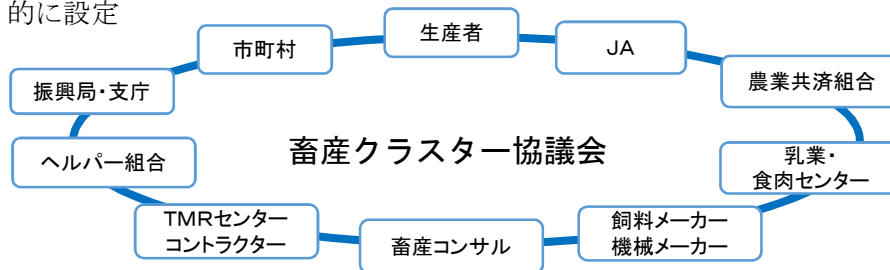
平成27年度～

<事業の流れ・補助率等>



<事業イメージ>

- ・ 地域の関係者が参画する畜産クラスター協議会の設置
- ・ 協議会は地域の畜産の収益性向上を図るための畜産クラスター計画を作成（計画は県が認定）
- ・ 計画には，中心的経営体を位置づけ，収益性向上の目標・効果を定量的に設定



畜産クラスター事業

各クラスター計画に位置づけられた取組に向け，計画に位置づけている中心的経営体の施設整備を支援



畜舎



堆肥舎

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部畜産振興課耕畜連携飼料対策係（099-286-3219）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜伝染病予防事業【継続】

【令和6年度予算額 443,860千円】

財源（国庫：213,156千円，一財：54,171千円，
特財：176,533千円）

<対策のポイント>

家畜伝染病予防法に基づき、家畜伝染病の発生を予防し、家畜伝染病のまん延を防止する

<政策目標>

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止により、畜産の振興を図る

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現, 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性、背景）

家畜伝染病予防法第5条、第31条に基づく検査及び第51条による立入検査を実施し、家畜伝染病の発生予防とまん延防止により、畜産の振興を図る。

2 事業主体（※負担割合）

県（国庫（家伝・消安），一部県単）

3 事業内容

(1) 家畜伝染病予防事業 【予算額：383,373千円】

家畜伝染病予防法に基づく検査，立入検査，及び指導

(2) BSE清浄化促進事業 【予算額：18,965千円】

① BSEを疑う症状のある死亡牛等BSE検査

② BSEサーベイランス検査

③ 病性鑑定検査

(3) 家畜伝染病侵入防止体制整備確立事業

【予算額：41,522千円】

① 家畜衛生情報，飼養衛生管理基準等の周知

② 県内全農家の定期報告の実施と報告集計及び
報告データの防疫活用

③ 飼養衛生管理基準遵守状況調査

<事業費内訳>

	家畜伝染病 予防事業	BSE清浄 化促進事業	家畜伝染病侵入 防止体制整備確 立事業
旅費	5,886	1,858	3,427
需用費	62,370	12,572	4,776
役務費	1,257	914	464
報償費	9		
使用料及び 賃借料		880	4,491
委託料	313,851	2,741	
報酬			17,240
職員手当等			6,532
共済費			4,592
計	383,373	18,965	41,522

（単位：千円）

4 事業期間

昭和53年度～

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部家畜防疫対策課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3） ■ 家畜衛生対策事業【継続】

【令和6年度予算額 6,189千円】
財源（国庫：3,025千円，一財：3,164千円）

<対策のポイント>

家畜衛生技術の総合的な指導体制を確立し、家畜衛生対策について濃密かつ重点的な指導を実施する

<政策目標>

畜産経営の安定

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

家畜衛生技術の創造的な指導体制を確立し、家畜衛生対策について濃密かつ重点的な指導を行い、畜産経営の安定を図る。

2 事業主体（負担割合）

県（国庫（消安），一部県単）

3 事業内容

- (1) 獣医療体制整備促進事業 【予算額：138千円】
獣医師就業動向，動物診療施設等の立入検査により施設の整備状況を調査する。
- (2) 監視・危機管理体制整備事業 【予算額：2,269千円】
事前対応型防疫体制構築のため家畜衛生情報収集や診断予防技術確立に取り組む。
- (3) 生産性向上対策事業 【予算額：2,868千円】
生産性阻害要因を究明し，その防除と併せ，衛生管理の改善等について検討を行う。
- (4) 動物由来感染症監視体制整備事業 【予算額：914千円】
動物由来感染症（豚レンサ球菌症等）の家畜における発生動向の把握を行う。

4 事業内容の詳細

- (1) 獣医療体制整備促進事業
 - ① 産業動物獣医師及び小動物獣医師の就業動向調査
 - ② 産業動物診療施設等の立ち入り検査，調査及び問題点の分析
- (2) 監視・危機管理体制整備事業
 - ① 家畜衛生関連情報整備対策
 - ② 診断予防技術の向上
 - ③ 動物用医薬品危機管理対策事業
- (3) 生産性向上対策事業
 - ① 衛生技術検討会
 - ② 衛生検査調査
- (4) 動物由来感染症監視体制整備事業
 - ① 情報伝達
 - ② 調査分析
 - ③ 全国対策会議

5 事業期間

S35年度～

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県農政部家畜防疫対策課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 自衛防疫強化総合対策事業【継続】

【令和6年度予算額 33,043千円】

財源（国庫：30,702千円，一財：2,341千円）

<対策のポイント>

畜産農家の自主的防疫措置の定着化を図り，家畜衛生対策を計画的かつ組織的に実施する

<政策目標>

家畜伝染病の発生の防止，畜産の生産性向上

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

畜産農家の自主的防疫措置の定着化を図り，家畜衛生対策を計画的かつ組織的に実施することにより，家畜伝染病の発生を防止し，もって畜産の生産性向上に資する。

2 事業主体（負担割合）

- (1) 県（国1／2，県1／2）
- (2) 県（国1／2，県1／2）
- (3) 市町村・団体等（国1／2，事業主体1／2）

3 事業内容

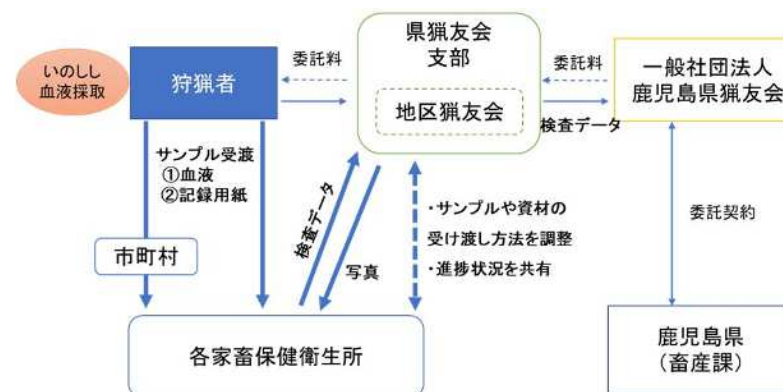
- (1) 自衛防疫強化対策事業 【予算額：98千円】
自衛防疫体制強化の普及・啓発を目的とした，パンフレット等の作成・配布を行う。
- (2) CSF清浄性確認事業 【予算額：5,945千円】
本県の野生イノシシにおける豚熱ウイルスの浸潤状況調査を行い，本病の清浄性の維持に努める。
- (3) 家畜疾病防疫対策事業 【予算額：27,000千円】
農場内へのウイルス侵入防止を図るための消毒機器や死亡獣畜保管庫，防護柵，防鳥ネット等の整備に要する経費に対する支援を行う。

4 事業期間

S47年度～

<事業イメージ>

野生イノシシ検査体制イメージ



野生動物侵入防止対策 （防護柵及び防鳥ネット設置）



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部家畜防疫対策課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜疾病病性鑑定事業【継続】

〔令和6年度予算額 1,838千円〕

財源（国庫：314千円，一財：1,524千円）

<対策のポイント>

家畜の不明疾病の原因究明のため，各種検査を実施し，的確な防疫措置を実施する

<政策目標>

被害を最小限にとどめ，農家経営の安定を図る

※ 未来創造ビジョン 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

各種検査を実施して家畜の様々な疾病の原因を究明し，迅速かつ的確な防疫措置を行うことで家畜の被害を最小限度にとどめ，農家の経営安定を図る。

2 事業主体

県（県単，一部国庫（消安））

3 事業内容

- (1) 病性鑑定に係る各種検査の実施
- (2) 検査の信頼性確保に係る検査機器の校正
- (3) 病性鑑定課における検査機器の修繕

4 事業期間

昭和47年度～

<令和4年度病性鑑定実施状況>

病性鑑定等実施状況（病性鑑定，モニタリング，サーベイランス等すべて含む）

区分		細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	臨床	病理	環境保全	その他	計
乳用牛	件数	17	54	45	21	30	6	0	0	173
	頭数	70	270	4,777	29	127	6	0	0	5,279
肉用牛	件数	124	784	51	280	376	261	0	4	1,880
	頭数	1,255	3,182	128	497	2,842	263	0	4	8,171
馬	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	頭数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豚	件数	18	132	5	7	58	19	1	0	240
	頭数	32	3,652	11	47	1,525	30	5	0	5,302
めん山羊	件数	1	1	6	0	2	8	0	4	22
	頭数	2	2	19	0	11	9	0	4	47
鶏	件数	18	218	2	2	146	29	0	0	415
	羽数	126	5,067	4	20	2,976	94	0	0	8,287
その他	件数	2	85	6	1	61	3	0	0	158
	頭羽数	22	200	55	2	84	3	0	0	366
小計	件数	180	1,274	115	311	673	326	1	8	2,888
	頭羽数	1,507	12,373	4,994	595	7,565	405	5	8	27,452

〔お問い合わせ先〕

鹿児島県農政部家畜防疫対策課家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜保健衛生所施設整備事業【継続】

【令和6年度予算額 786,047千円】
財源（国庫：116,469千円，県債：534,000千円，
一財：135,578千円）

<対策のポイント>

家畜衛生業務の円滑な運営及び適切な検査体制の維持を図る

<政策目標>

バイオセキュリティの向上，診断体制の向上，危機管理体制の強化

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

家畜保健衛生所の円滑な業務運営及び検査機能の強化を図るため，家畜保健衛生所の施設整備を行う。

2 事業主体

県（県単，一部国庫（消安））

3 事業内容

- (1) 家畜保健衛生所移転整備 【予算額：754,573千円】
家畜保健衛生所の移転整備に係る建築工事，設計工事及び解体設計委託等
- (2) 施設維持補修 【予算額：8,008千円】
家畜保健衛生所における焼却施設や備品等の維持補修
- (3) 施設整備事業 【予算額：6,892千円】
家畜保健衛生所における施設や備品の整備
- (4) 検査機器整備 【予算額：7,801千円】
家畜伝染病予防対策，検査等家畜衛生対策推進に必要な検査機器の整備
- (5) BSE検査体制整備事業 【予算額：8,773千円】
BSE対策特別措置法及び基本計画に基づき，各ストックポイントに整備されている冷凍保管施設の更新

4 事業内容の詳細

- (1) 家畜保健衛生所移転整備（県10/10，県1/2・国1/2）
 - ・建築工事，設備工事
- (2) 施設維持補修（県10/10）
 - ・家畜保健衛生所焼却炉の維持・補修
 - ・ストックポイントにおける冷凍保管施設等の修繕
 - ・家畜保健衛生所の事務所施設補修
 - ・鹿児島中央家保補修工事の設計委託
- (3) 施設整備事業（県10/10）
 - ・フォークリフト購入（中央SP）
 - ・家畜保健衛生所の事務所等備品の購入
 - ①執務室エアコン（北薩）
- (4) 検査機器整備（県1/2，国1/2）
 - ①安全キャビネット（中央家保）
 - ②多項目自動血球計数装置（南薩家保）
 - ③正立型生物顕微鏡（徳之島支所）
 - ④冷凍冷蔵庫（中央家保）
 - ⑤薬品保冷库（始良家保）
 - ⑥マイクロピペット（8チャンネル）（曾於家保）
- (5) BSE検査体制整備事業（県1/2，国1/2）
 - ・冷凍保管施設の更新
 - ①徳之島

5 事業期間

昭和47年度～

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部家畜防疫対策課
家畜衛生係（099-286-3224）

7 生産性向上に関する施策（7-3）

■ 家畜伝染病危機管理体制整備事業【継続】

【令和6年度予算額 5,636千円】

財源（国庫：2,393千円，一財：3,243千円）

<対策のポイント>

農場における生産衛生管理体制（農場HACCP）の推進による個々の農場における自衛防疫対策を基本とした防疫体制の構築
家畜伝染病の発生に備え防疫演習を実施し，初動防疫体制に関する理解を深めるとともに，防疫措置に必要な資材整備を図る

<政策目標>

家畜伝染病の発生による被害を最小限にとどめる

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現，10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的（必要性，背景）

個々の農場における「自衛防疫」対策を強化するとともに，「侵入防止対策」の徹底と速やかな「まん延防止措置」を図るための体制を整備する。

2 事業主体（負担割合）

- (1) 県（国（消安）1／2，県10／10）
- (2) 県（国（家伝・消安），県10／10）

3 事業内容

- (1) 農場衛生管理推進事業 【予算額：465千円】
生産衛生管理体制（農場HACCP）の推進により，個々の農場における自衛防疫対策を基本とした防疫体制を構築
- (2) 家畜伝染病危機管理体制整備事業【予算額：5,171千円】
 - ①防疫演習
防疫演習の開催により関係者の理解共有や意識向上を図るとともに，リーダー研修の開催により初動防疫対応のリーダーとなる家畜防疫員の育成を図る。
 - ②備蓄資材の更新
初動防疫に係る備蓄資材のうち，耐用年数を経過した資材について引き続き更新を行う。

4 事業期間

平成23年度～

<事業イメージ>

<農場衛生管理推進事業>

農場指導員の養成：地域における指導体制を強化するため，農場指導員を養成

座学による研修

- ・農場HACCPの取組を普及するために必要な指導上重要な知識・手法を習得

実地による研修

- ・多様性に富む生産農場の指導度を行うため，習得した知識・手法を的確に応用するための技術・ノウハウ習得

農場指導員の質の向上，指導強化による取組の定着を図る
・農場HACCPの認証制度の普及
・研修会の実施

➡ 農場HACCPの普及・定着による飼養衛生管理の強化

<防疫演習>



【お問い合わせ先】 鹿児島県農政部家畜防疫対策課家畜防疫対策係（099-286-3297）

7 生産性向上に関する施策（7-1）

■ 試験研究事業【継続】

【令和6年度予算額 18,348千円】

財源（特定：15,546，一財：2,802）

※「鹿児島黒牛」改良増殖推進事業除く

<対策のポイント>

牛肉の肉質や美味しさの改良を目指すとともに、胚移植技術等も活用した効率的な種雄牛造成に取り組みます。

<政策目標>

「鹿児島黒牛」のブランド確立と一層の販路拡大

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

<事業の内容>

1 目的

本県肉用牛の特色である増体能力を高めながら肉質向上を図ることを基本に、次世代の繁殖雌牛群の血統構成を的確に把握しながら、適切な遺伝的能力評価に基づき、産肉能力が高く種牛性に優れた種雄牛を造成する。さらに、牛肉の肉質や美味しさに着目した研究にも取り組み、本県肉用牛の改良を促進する。

2 事業主体

県（肉用牛改良研究所）

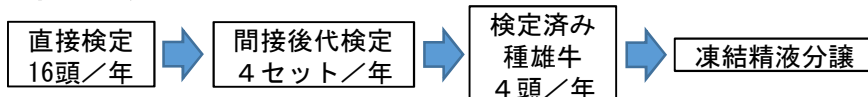
3 事業内容

- (1) 「鹿児島黒牛」改良増殖推進事業【予算額：98,445千円】（再掲）
（優良種雄牛候補確保対策，直接検定，間接後代検定，種雄牛管理等推進事業）
- (2) 新たな改良指標 【予算額：9,858千円】
（DNA解析，脂肪交雑形状，おいしさ成分，繁殖性向上）
- (3) 効率的種雄牛造成 【予算額：8,490千円】
（胚移植技術，分割胚）

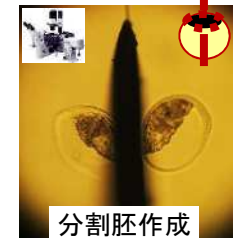
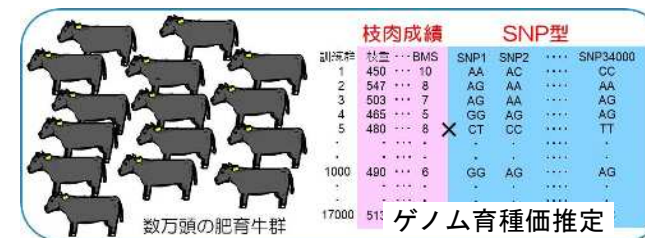
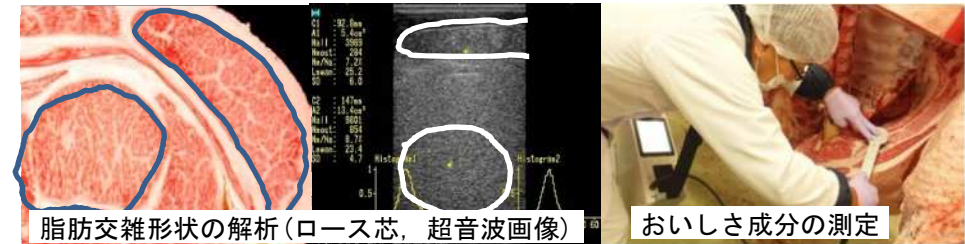
4 事業期間

研究課題ごとに複数年（主に3～5年）

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】

鹿児島県肉用牛改良研究所（099-482-5252）

9 農村振興に関する施策（9-2）

■ 県営中山間総合整備事業【継続】

【令和6年度予算額 1,716,821千円】
財源（国庫：950,450千円，特定：656,174千円，
一財：110,197千円）

<対策のポイント>

中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤を総合的に整備します。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-②）

<事業の内容>

1 目的

中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤の整備を総合的に行い、農業生産性の向上、国土・環境保全機能の増進を図る。

2 事業主体

県

H15採択から【生産】国：55%，県：30%，地元：15%

【環境】国：55%，県：25%，地元：20% など

3 事業内容

県営中山間総合整備事業 【予算額：1,716,821千円】

4 事業期間

平成24年度～令和13年度

（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

（※事業主体が県の場合）

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
（負担金） （負担金） （補助金）

<事業イメージ>

【ほ場整備】



整備前



整備後

【活性化施設】



奄美市農林産物加工センター

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

9 農村振興に関する施策（9-1）
■ 県営農村振興等総合整備事業【継続】

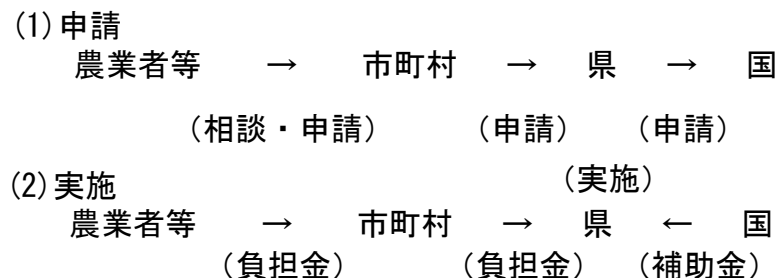
【令和6年度予算額 222,600千円】
 財源（国庫：105,000千円，特定：103,625千円，
 一財：13,975千円）

＜対策のポイント＞
 農村地域において，農業生産基盤及び集落基盤を総合的に整備します。
 ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-②）

＜事業の内容＞

- 1 目的
 農村地域において，農業生産基盤の整備と集落基盤の整備を一体的に行い，農村の総合的な振興を図る。
- 2 事業主体
 県【生産】国：50%，県：28.5%，地元：21.5%
 【環境】国：50%，県：25%，地元：25%
- 3 事業内容
 県営農村振興総合整備事業 【予算額：222,600千円】
- 4 事業期間
 平成19年度～令和8年度
 （令和6年度実施地区における事業期間）

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

【ほ場整備】



整備前



整備後

【集落排水路の整備】



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

5 農地利用，基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 畑地帯総合農地整備事業【継続】

【令和6年度予算額 7,652,130千円】

財源（国庫：4,296,703千円，特定：2,781,903千円，
一財：573,524千円）

<対策のポイント>

畑地帯における畑地かんがい施設やほ場の整備，農道整備等の総合的な基盤整備を実施します。

※ ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 3 県民が豊かになる産業振興

<事業の内容>

1 目的

畑地帯が約7割を占める本県農業の生産性向上を図るため，畑地かんがい施設やほ場の整備などを行う。

2 事業主体

県等

（国：50%，県：28.75%，地元：21.25% など）

3 事業内容

畑地帯総合農地整備事業 【予算額：7,652,130千円】

4 事業期間

平成16年度～令和14年度

（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

（※事業主体が県の場合）

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
（負担金） （負担金） （補助金）

<事業イメージ>

【畑地かんがい施設整備】



貯水池



パイプライン



スプリンクラー

【ほ場整備】



整備前



整備後

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 国営・水利係 (099-286-3256)

5 農地利用，基盤整備等に関する施策（5-2）
■ 経営体育成基盤整備事業【継続】

【令和6年度予算額 2,146,922千円】
 財源（国庫：1,147,984千円，特定：886,682千円，
 一財：112,256千円）

＜対策のポイント＞

水田のほ場整備などを行います。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（2-①）

＜事業の内容＞

1 目的

経営体の育成に資する水田のほ場整備等を行い，中・大型機械の導入による高生産性農業の展開を図る。

2 事業主体

県
 （国：55%，県：28.75%，地元：16.25% など）

3 事業内容

経営体育成基盤整備事業 【予算額：2,146,922千円】

4 事業期間

平成27年度～令和14年度
 （令和6年度実施地区における事業期間）

＜事業の流れ＞

（※事業主体が県の場合）

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
 （相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
 （負担金） （負担金） （補助金）

＜事業イメージ＞

【ほ場整備】



整備前



整備後

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

9 農村振興に関する施策（9-1）

■ 団体営農村振興総合整備等統合補助事業【継続】

【令和6年度予算額 13,038千円】

財源（国庫：10,000千円，特定：1,000千円，
一財：2,038千円）

<対策のポイント>

農業生産基盤及び集落基盤を総合的に整備します。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-②）

<事業の内容>

1 目的

農村地域において、農業生産基盤の整備と集落基盤の整備を一体的に行い、農村の総合的な振興を図る。

2 事業主体

市町村 等

H17採択まで【環境施設以外】国：50%，県：18%，地元：32%

【環境施設】国：50%，県：0%，地元：50%

H18採択以降【環境施設以外】国：50%，県：16%，地元：34%

【環境施設】国：50%，県：0%，地元：50%

3 事業内容

団体営農村振興総合整備事業 【予算額：13,038千円】

4 事業期間

平成17年度～令和7年度（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村等 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)

(2) 実施

農業者等 → 市町村等 ← 県 ← 国
(負担金) (補助金) (補助金)

<事業イメージ>

【ほ場整備】



整備前



整備後

【集落道路の整備】



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

9 農村振興に関する施策（9-2）
■ 団体営中山間総合整備事業【継続】

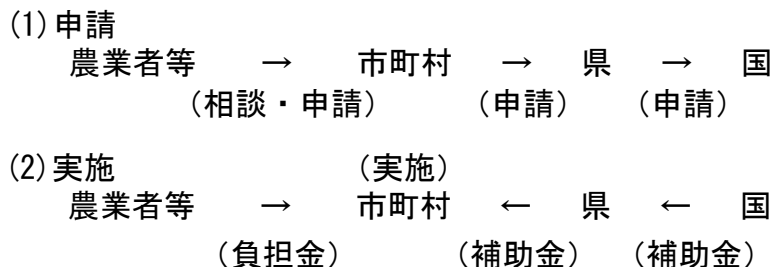
【令和6年度予算額 79,750千円】
 財源（国庫：60,500千円，特定：16,000千円，
 一財：3,250千円）

＜対策のポイント＞
 中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤を総合的に整備します。
 ※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上（1-②）

＜事業の内容＞

- 1 目的
 中山間地域において、農業生産基盤及び生活環境基盤の整備を総合的に行い、農業生産性の向上、国土・環境保全機能の増進を図る。
- 2 事業主体
 市町村
 H15採択から【生産】国：55%，県：15%，地元：30% など
- 3 事業内容
 団体営中山間総合整備事業 【予算額：79,750千円】
- 4 事業期間
 平成27年度～令和11年度
 （令和6年度実施地区における事業期間）

＜事業の流れ＞
 （※事業主体が県の場合）



＜事業イメージ＞

【ほ場整備】



整備前



整備後

【鳥獣害防止柵】



【鳥獣害防止柵】



【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係（099-286-3239）

5 農地利用, 基盤整備等に関する施策 (5-2)

■ 団体営基盤整備促進事業【継続】

【令和6年度予算額 355,083千円】
 財源 (国庫: 318,160千円, 特定: 28,000千円,
 一財: 8,923千円)

<対策のポイント>

地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を実施し, 生産効率の向上を図ります。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 (2-①)

<事業の内容>

1 目的

農村地域において, 地域の実情に応じた迅速かつきめ細やかな農地・農業水利施設等の整備を行い, 生産効率の向上を図る。

2 事業主体

市町村 等
 (国: 55%, 県: 0%, 地元: 45% など)

3 事業内容

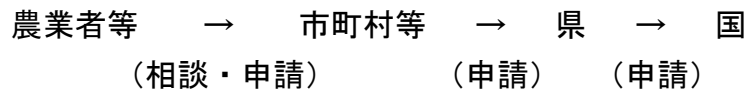
団体営基盤整備促進事業 【予算額: 355,083千円】

4 事業期間

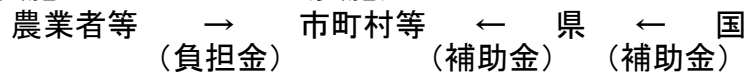
平成26年度~令和10年度
 (令和6年度実施地区における事業期間)

<事業の流れ>

(1) 申請



(2) 実施



<事業イメージ>

【農作業道の整備】



整備前



整備後

【老朽化した水路の整備】



整備前



整備後

【区画拡大 (畦畔除去)】



区画拡大前



畦畔除去



区画拡大後

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 農村整備係 (099-286-3239)

5 農地利用, 基盤整備等に関する施策 (5-2)

■ 団体営土地改良施設維持管理事業【継続】

【令和6年度予算額 367,561千円】

財源 (国庫: 211,056千円, 特定: - 千円,
一財: 156,505千円)

<対策のポイント>

農業水利施設の維持管理の助成や管理業務に関する管理体制及び操作体制の整備などを行います。
また, 農業水利施設の包蔵水力を活用した小水力発電のための施設整備及び導入支援を行います。

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上 (2-①)

<事業の内容>

<事業イメージ>

1 目的

公共性, 公益性の高い基幹的水利施設について, 施設が有する多面的機能の発揮等のために管理業務の体制整備などを行う。

2 事業主体

市町村 等
(国: 30%, 県: 30%, 地元: 40% など)

3 事業内容

団体営土地改良施設維持管理事業
【予算額: 367,561千円】

4 事業期間

平成9年度~
(令和6年度実施地区における事業期間)

<事業の流れ>

(※事業主体が市町村の場合)

(1) 申請

農業者等 → 市町村等 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)

(2) 実施

農業者等 → 市町村等 ← 県 ← 国
(負担金) (補助金) (補助金)

【施設の管理】



施設の保守点検



施設周辺の清掃



整備前



整備後

ダムの周辺の流木除去

【お問い合わせ先】

鹿児島県 農政部 農地整備課 国営・水利係 (099-286-3256)

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 農地整備事業（通作・基幹）【継続】

【令和6年度予算額 42,400千円】

財源（国庫：22,000，特定：17,500，一財：2,900）

<対策のポイント>

農作業と農畜産物の輸送をサポートするため、地域の営農状況に応じた基幹農道の整備を進める。

<政策目標>

農業経営の大規模化に伴い大型化する農業機械の安全通行の確保や農業用資材の搬入・農作物輸送の効率化、併せて快適な農村生活環境の実現を図る。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

基幹農道の整備により、農産物輸送の合理化、移動時間の短縮、大型機械の導入促進、これらに伴うコスト縮減による農業経営の安定化、農村生活環境の改善が見込める。

2 事業主体（※負担割合）

県（国：55%，県：41.25%，地元3.75%）

3 事業内容

農地整備事業（通作・基幹） 【予算額：42,400千円】

4 事業期間

令和4年度～令和12年度（9か年）
（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

市町村 → 県（実施） ← 国
（負担金） （補助）

<事業イメージ>

【農道の改良】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 農地整備事業（通作・一般）【新規・継続】

【令和6年度予算額 291,400千円】

財源（国庫：148,750，特定：130,500，一財：12,150）

<対策のポイント>

農作業と農畜産物の輸送をサポートするため、地域の営農状況に応じた農道の整備を進める。

<政策目標>

農業経営の大規模化に伴い大型化する農業機械の安全通行の確保や農業用資材の搬入・農作物輸送の効率化、併せて快適な農村生活環境の実現を図る。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

農道の整備により、農産物輸送の合理化，移動時間の短縮，大型機械の導入促進，これらに伴うコスト削減による農業経営の安定化，農村生活環境の改善が見込める。

2 事業主体（※負担割合）

県（国：50%，県：28.75%，地元21.25% など）

3 事業内容

農地整備事業（通作・一般） 【予算額：291,400千円】

4 事業期間

平成26年度～令和13年度（18か年）
（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

市町村 → 県（実施） ← 国
（負担金） （補助）

<事業イメージ>

【農道の改良】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 農地整備事業（通作・保全）【新規・継続】

【令和6年度予算額 891,128千円】

財源（国庫：544,970，特定：278,686，
一財：67,472）

<対策のポイント>

農業生産性の持続的な発展のため、老朽化が進む農道施設の保全対策を実施する。

<政策目標>

農道施設の機能保全とライフサイクルコストの低減のため、点検診断・機能保全計画策定とこれに基づく適時・適切な機能保全対策を実施する。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

既設の農道について、点検診断を行うとともに機能保全対策面からの更新整備や農道機能強化対策面等からの整備水準の向上を図る保全対策等を行う。

2 事業主体（※負担割合）

県（国：50%，県：28.75%，地元21.25% など）

3 事業内容

農地整備事業（通作・保全）【予算額：891,128千円】

4 事業期間

平成28年度～令和12年度（15か年）
（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

市町村 → 県（実施） ← 国
（負担金） （補助）

<事業イメージ>

【農道橋の補修】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 県営かんがい排水事業【新規・継続】

【令和6年度予算額 1,886,500千円】

財源（国庫：1,111,495, 特定：700,280, 一財：74,725）

<対策のポイント>

農業生産性の持続的な発展のため、老朽化が進む農業水利施設の機能保全対策を実施する。

<政策目標>

農業水利施設の機能保全とライフサイクルコストの低減のため、機能診断・機能保全計画策定とこれに基づく適時・適切な機能保全対策を実施する。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

国営・県営により造成された農業水利施設の機能診断，機能保全計画作成，これに基づく対策工事を一貫して実施する。

2 事業主体（※負担割合）

県（国：50%，県：25%，地元：25% など）

3 事業内容

県営かんがい排水事業 【予算額：1,886,500千円】

4 事業期間

平成27年度～令和12年度（16年）
（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

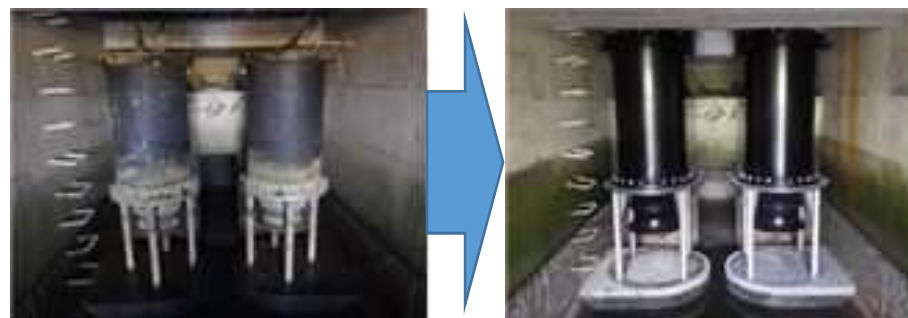
農業者等 → 市町村 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県（実施） ← 国
(分担金) (負担金) (補助)

<事業イメージ>

【排水ポンプの更新】



【頭首工の更新・補修】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

5 基盤整備等に関する施策（5-2）

■ 団体営土地改良施設維持管理事業【新規・継続】

【令和6年度予算額 229,950千円】

財源（国庫：144,900，特定：34,000，
一財：51,050）

<対策のポイント>

農業水利施設の定期的な整備補修等を実施し、農業水利施設の管理の適正化を図る。

<政策目標>

土地改良区等施設管理者の維持管理に対する意識の昂揚を図るとともに、農業水利施設の機能保持と耐用年数の確保のため必要となる整備補修を実施する。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

団体営規模以上の事業により造成された農業水利施設の機能保持のため必要となる整備補修や管理の効率化と労力節減を図るため必要となる設備改善を実施する。

2 事業主体（※負担割合）

施設を管理している改良区，市町村
（国：30%，県：30%，地元：40%など）

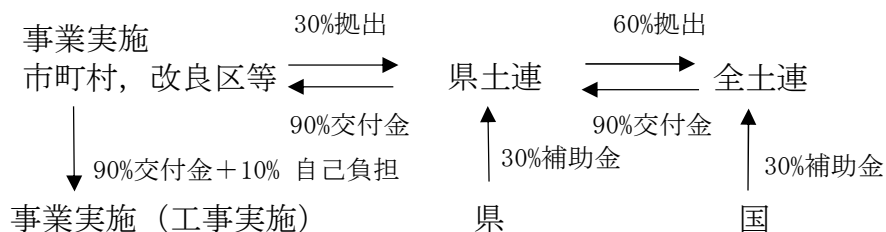
3 事業内容

団体営土地改良施設維持管理事業【予算額：229,950千円】

4 事業期間

- ・加入年度から5年間のいずれかの年度に工事实施（加入年度事業計画に基づく）
- ・資金の拠出は5年間継続

<事業の流れ>



<事業イメージ>

【揚水ポンプの整備補修】



【頭首工の設備改善（板堰→転倒ゲート）】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課施設保全係（099-286-3277）

8 農業災害防止に関する施策

■ 県営ため池等整備事業【新規・継続】

【令和6年度予算額 1,261,250千円】

財源（国庫：695,757，特定：491,595，
一財：73,898）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

農業用施設の災害を未然に防止する。

2 事業主体（※負担割合）

県 など

（国：55%，県：26.625%，地元：18.375% など）

3 事業内容

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 防災重点ため池の整備 | 【予算額：526,950千円】 |
| (2) 用排水施設の防災事業 | 【予算額：507,600千円】 |
| (3) 農業用河川工作物の整備 | 【予算額：226,700千円】 |

4 事業期間

平成28年度～令和12年度（15か年）

（令和6年度実施地区における事業期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
(負担金) (負担金) (補助金)

<事業イメージ>

【ため池整備】



【用排水施設整備】



【河川工作物応急対策】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

8 農業災害防止に関する施策

■ 県営農地保全整備事業【新規・継続】

【令和6年度予算額 867,000千円】

財源（国庫：449,900，特定：371,900，
一財：45,200）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

農地・農業用施設の災害を未然に防止する。

2 事業主体（※負担割合）

県 など

（国：55%，県：40.0%，地元：5.0% など）

3 事業内容

(1) 畑地帯の侵食を防止の整備【予算額：867,000千円】

4 事業期間

平成24年度～令和13年度（20か年）

（令和6年度実施地区における事業実施期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
(相談・申請) (申請) (申請)

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
(負担金) (負担金) (補助金)

<事業イメージ>

【排水路整備】



整備前



整備後

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

8 農業災害防止に関する施策

■ 農村地域防災減災事業【新規・継続】

【令和6年度予算額 769,375千円】

財源（国庫：487,475, 特定：244,300,
一財：37,600）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

1 目的

農業用排水路の整備や、農業集落の防災施設整備を総合的に行い災害を未然に防止する。

2 事業主体（※負担割合）

県 など

（国：55%，県：40.0%，地元：5.0% など）

3 事業内容

- (1) 農村地域の防災減災事業 【予算額：643,800千円】
（整備事業）
- (2) 農村地域の防災減災事業 【予算額：125,575千円】
（調査計画）

4 事業期間

平成26年度～令和8年度（13か年）

（令和6年度実施地区における事業実施期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

農業者等 → 市町村 → 県 → 国
（相談・申請） （申請） （申請）

(2) 実施

農業者等 → 市町村 → 県 ← 国
（負担金） （負担金） （補助金）

【用水排水施設整備】



【緊急避難路整備】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

8 農業災害防止に関する施策

■ 海岸保全施設整備事業【新規・継続】

【令和6年度予算額 361,498千円】

財源（国庫：191,932，特定：138,592，
一財：30,974）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン体系 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

高潮による被害を防止するため海岸堤防の整備や既存施設の長寿命化対策を実施する。

2 事業主体（※負担割合）

県 など

内地（国：55%，県：41.5%，地元：8.5%）

奄美（国：2/3，県：0.775/3，地元：0.225/3）

3 事業内容

(1) 老朽化した海岸施設の整備 【予算額：294,300千円】

(2) 高潮等による海岸施設の整備 【予算額：50,598千円】

(3) 津波・高潮危機管理対策 【予算額：16,600千円】

4 事業期間

平成28年度～令和9年度（12か年）

（令和6年度実施地区における事業実施期間）

<事業の流れ>

(1) 申請

市町村 → 県 → 国
(申請) (申請)

(2) 実施

市町村 → 県 ← 国
(負担金) (補助金)

<事業イメージ>

【老朽化対策】



【高潮対策】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

8 農業災害防止に関する施策

■ 団体営耕地災害復旧事業【新規・継続】

【令和6年度予算額 2,720,120千円】

財源（国庫：2,592,114, 特定：102,000, 一財：26,006）

<対策のポイント>

農地等への災害を未然に防止するため、排水路等の整備に取り組む。

<政策目標>

農村地域の防災・減災対策として、ため池や排水路等の農業用施設の整備に取り組む。

※ 未来創造ビジョン 6 安心・安全な県民生活の実現

<事業の内容>

1 目的

自然気象現象に伴い被災した、農地・農業用施設の復旧を実施する。

2 事業主体（※負担割合）（嵩上げあり）

市町村など

（国：50%（農地），65%（施設） など）

3 事業内容

(1) 過年災の災害復旧 【予算額： 420,120千円】

(2) 現年災の災害復旧 【予算額：2,300,000千円】

4 事業期間

令和4年度～令和6年度（3年）

（災害復旧は、3カ年で実施（予算の割当））

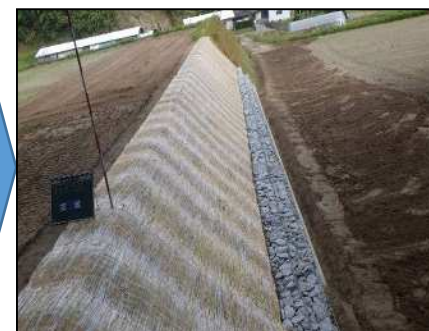
<事業の流れ>

(1) 申請

災害発生 → 被害報告 → 査定 → 着工

<事業イメージ>

【農地】



【農業用施設】



【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課農地防災係（099-286-3281）

■ 地籍調査事業【継続】

【令和6年度予算額 651,500千円】

財源（国庫：434,041千円，一財：217,459千円）

＜対策のポイント＞ 本県の地籍の明確化を図るため，県下全域において土地の所有者・地番・地目の調査並びに境界を及び地籍に関する測量を実施し，地籍図・地籍簿を整備する。

＜政策目標＞ 課税の適正化及び公平化，公共事業の効率化及びコスト縮減，災害復旧の迅速化など

＜事業の内容＞

1 目的

国土の開発及び保全，並びにその利用の高度化に資するとともに，地籍の明確化を図るため国土の実態を調査測量する。

2 事業主体（※負担割合）

市町村（国：50%，県：25%，市町村：25%）

3 事業内容

(1) 地籍調査

【予算額：651,500千円】

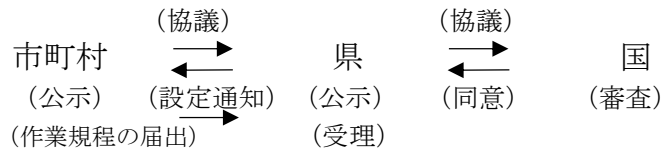
4 事業期間

昭和28年度～

国土調査十箇年計画（第7次十箇年計画（R2～R11））

＜事業の流れ＞

(1) 県は都道府県計画に基づき毎年度事業計画を定める。

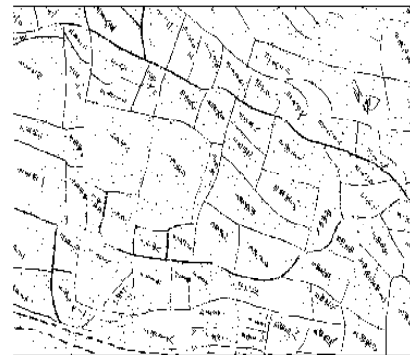


(2) 実施

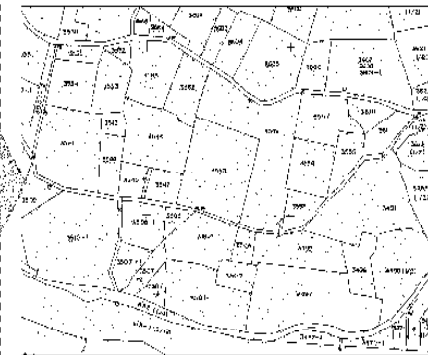


＜事業イメージ＞

【地籍調査前】字限図(いわゆる公図)



【地籍調査後】地籍図



- 地租改正に伴い、明治中頃に作成された図面
- 当時の測量技術に基づき作成されているため、正確性に欠けており、土地に関するトラブルの原因となる場合も

- 一筆ごとの境界を、最新の測量技術をもって正確に測量し作図したもの
- 土地の形状や位置が正確に記録され、保存される

【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部農地保全課国土調査係（099-286-3277）